

事務事業及び予算の執行実績
(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立藤枝特別支援学校
静岡県立藤枝特別支援学校 焼津分校

目 次

1	事務事業の概要	1
2	事務執行の根拠法令調	25
3	学校施設の概要	26
4	在籍生徒調	28
5	入学志願者及び入学者数調	30
6	卒業生の動向調	31
7	生徒の状況	32
8	特別支援学校における生産物売払調	34
9	預金調	37
10	郵券等受払調	38
11	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	39
12	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	40
13	委託料に関する調	41
14	負担金支出調	46
15	建築工事調	48
16	公有財産調	50
17	借地借家等調	51
18	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	52
19	行政財産貸付・使用許可調	53
20	主要備品調	54
21	職員調	55
22	職員の年齢調	62
23	健康管理	63

事務事業の概要

1 概況

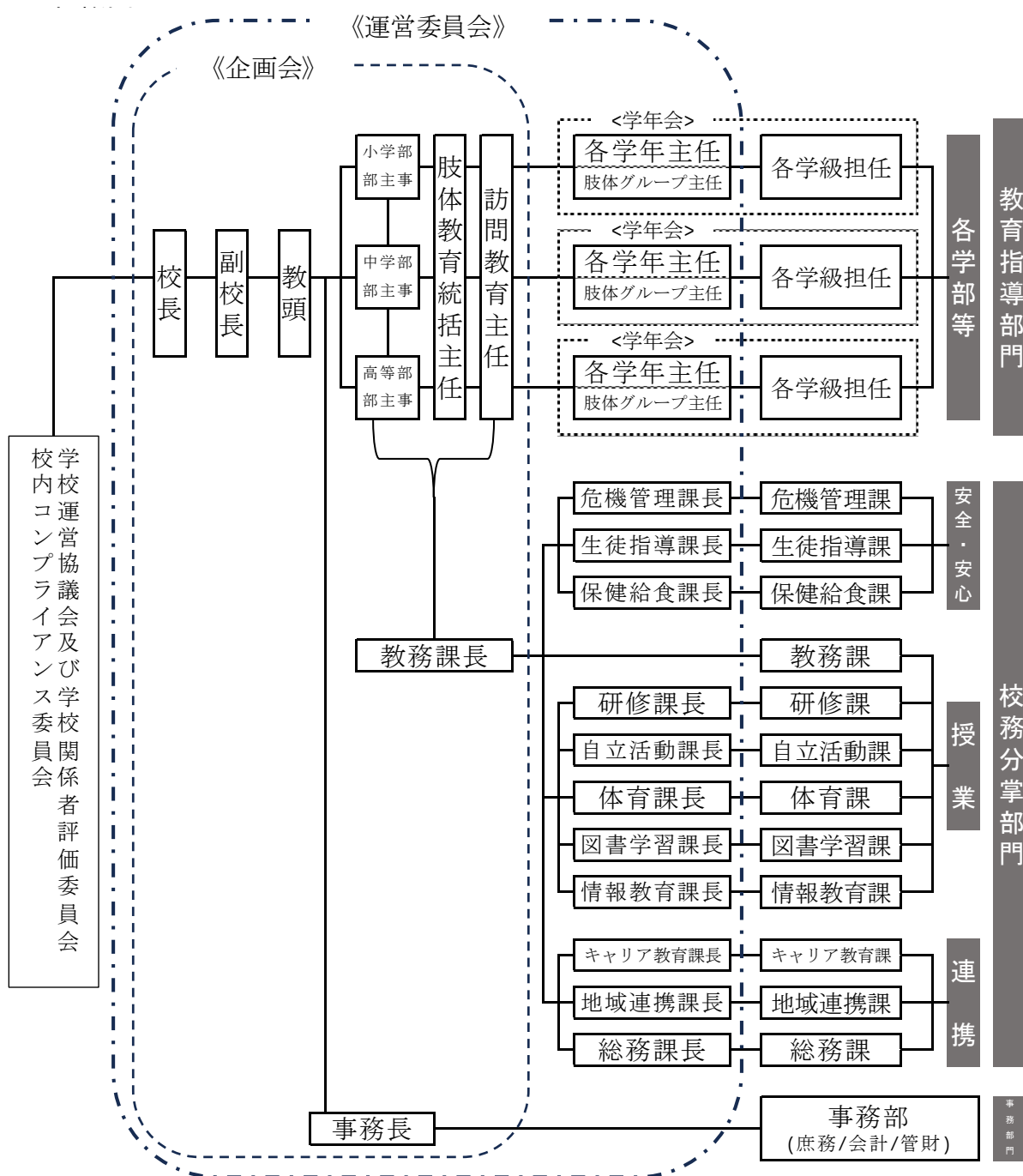
(1) 学校の沿革

昭和57年2月20日	静岡県教育委員会、志太榛原地区の養護学校対象児調査実施
昭和58年12月8日	心身障害児(者)総合対策委員会で志太榛原地区養護学校必要の結論
昭和59年6月27日	設置場所を静岡県立藤枝高等職業訓練校跡地に決定
昭和60年7月1日	校舎新築工事着工
昭和61年2月28日	校舎建築工事完了 管理棟 小・中学部棟 給食棟
昭和61年3月1日	静岡県立藤枝養護学校設置 初代校長 影山治三就任
昭和61年4月8日	始業式(小69人 中47人 訪問27人)
昭和61年4月12日	入学式・開校式挙行
昭和62年2月13日	体育館・外トイレ棟完成
昭和62年4月1日	高等部設置
昭和62年10月15日	プール完成
平成元年3月30日	高等部棟完成
平成元年4月1日	文部省心身障害児適正就学推進研究指定校
平成元年6月2日	校歌制定
平成2年1月30日	校舎等完成記念式典挙行
平成2年3月16日	第1回高等部卒業式挙行
平成2年4月1日	2代校長 池上登就任
	静岡北養護学校より駿遠分教室の管理移管
	文部省心身障害児職業自立推進のための調査研究指定校
平成3年4月1日	小・中学部に肢体重複学級設置
平成4年4月1日	3代校長 長橋勝就任
平成6年3月28日	スクールバス3台更新
平成8年2月29日	創立10周年記念式典挙行
平成8年4月1日	4代校長 松浦光雄就任
平成10年4月1日	高等部に肢体重複学級設置
平成10年12月17日	新校舎(小学部棟)着工
平成11年3月25日	新給食棟完成
平成11年4月1日	5代校長 竹原悠子就任
平成12年1月31日	新校舎(小学部棟)完成
平成12年3月22日	新体育館・屋外トイレ完成
平成12年4月1日	訪問教育に高等部設置
	駿遠分教室
	文部科学省マルチメディアを活用した補充指導についての調査研究指定校(2年間)
平成13年1月25日	グラウンド整備工事完了
平成13年6月3日	新校舎落成記念行事開催
平成14年4月1日	6代校長 花井千鈴就任
平成16年4月1日	7代校長 萩原隆司就任
	スクールバス4路線運行となる。
平成17年9月30日	給食棟に空調設備完成
平成18年4月1日	8代校長 櫻井隆就任
平成19年2月9日	創立20周年記念式典開催
平成19年4月1日	スクールバス5路線運行となる。
平成20年4月1日	校名を「静岡県立藤枝養護学校」から「静岡県立藤枝特別支援学校」に変更
平成21年3月23日	新校舎(小学部北館)完成

平成21年4月1日	9代校長 安田清和就任 スクールバス6路線運行となる。
平成23年4月1日	10代校長 村本幸雄就任
平成25年4月1日	11代校長 井口廣之就任 静岡県立焼津水産高校内に焼津分校設置
平成25年4月9日	焼津分校開校式・入学式举行
平成26年4月1日	スクールバス7路線運行となる。
平成27年4月1日	12代校長 小泉一治就任 吉田特別支援学校開校に伴い駿遠分教室が吉田特別支援学校へ移管となる。 スクールバス5路線運行となる。
平成28年10月9日	創立30周年記念コンサート開催
平成29年4月1日	13代校長 鈴木和裕就任
平成31年4月1日	14代校長 木川誠就任
令和3年4月1日	15代校長 山田伸代就任
令和4年3月23日	スクールバス1台更新
令和5年4月1日	16代校長 岩附祥子就任
令和7年4月1日	17代校長 鈴木ゆかり就任

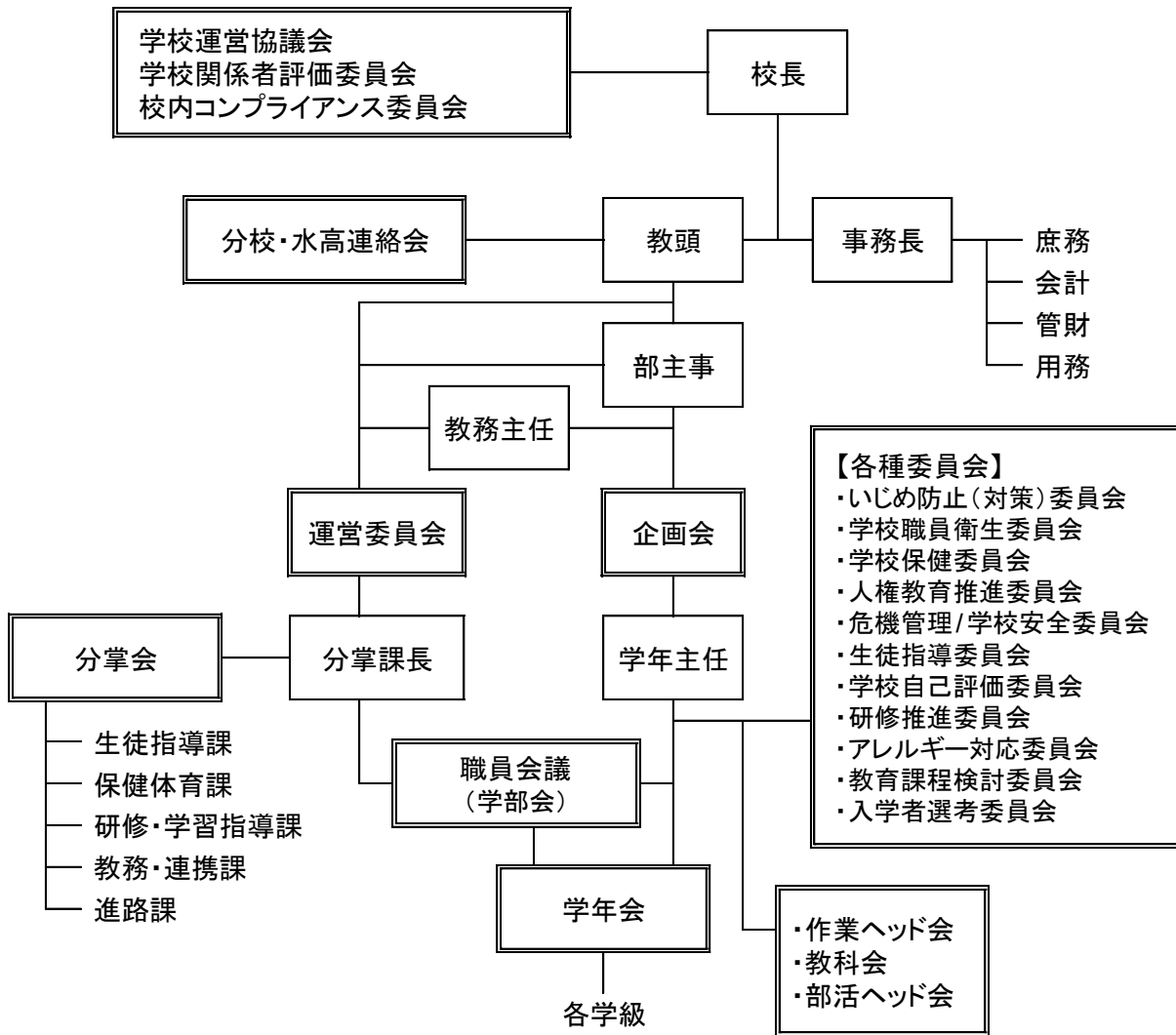
(2) 組織図

【本校】



人権教育推進委員会	いじめ防止対策委員会	学校保健委員会
学校職員衛生委員会	交通安全促進委員会	アレルギー対応委員会
学校自己評価委員会	危機管理委員会	感染症対策委員会
防災対策委員会	生徒指導対策委員会	校内医療的ケア検討委員会
校内就学支援委員会	共生共育推進委員会	献立作成委員会
物資選定委員会	衛生管理委員会	食育推進委員会
スクールバス委員会	校内支援委員会	学校施設開放委員会
情報管理委員会	研究推進委員会	教育課程検討委員会
教科書選択委員会	環境教育推進委員会	高等部入学者選考委員会
校内コンプライアンス委員会	学校運営協議会及び学校関係者評価委員会	
ふじとくまつり実行委員会	カリキュラム・マネジメント推進委員会	
デジタルプラットフォーム推進プロジェクト		

【焼津分校】



2 目指す学校像

【本校】

(1) 教育目標 「ひびき合い、つくり合う」中で、自立に向けて力強く生きる人を育てる
めざす姿

小学部	「元気に 仲良く がんばる子」
中学部	「自分から進んで活動に取り組む生徒」
高等部	「豊かな生活を築く人」
訪問教育	「人とつながり心豊かに生きる人」

(2) 目標具現化の柱

ア 命を守り、人権を尊重した安全・安心な学校づくり（安全・安心）
 教職員が安心して業務を行い、児童生徒の学びを支える安全な学校づくり（安全・安心）
 イ 一人一人の確かな成長と発達を積み上げる授業づくり（授業）
 ウ 児童生徒、保護者、地域、関係機関と共につくり合う学校づくり（連携）

【焼津分校】

(1) 教育目標 「ひびき合い、つくり合う」中で、自立に向けて力強く生きる人を育てる

分校合言葉 ～地域で自立し、地域に貢献する人になろう～

(2) 目標具現化の柱

ア 安心して学べる安全な環境をつくる（安全・安心）

イ 学びと成長を積み上げる授業をつくる（授業）

ウ より良い生活づくりをともに支える関係をつくる（連携）

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

【本校】

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア 安全・安心	命を守る危機管理体制の整備と共有	- 緊急時での自身の役割が分かり、具体的な行動を考えた教職員 100% - 担当する医ケア児の緊急時・災害時の用具の保管場所や扱い方についての研修を3回以上実施し、理解した担当者 100% - ヒヤリハットの報告を自分が担当する活動場面に置き換えて対応を考えた教員 100%	- 緊急時での自身の役割が分かり、具体的な行動を考えた教職員 99% - 担当する医ケア児の緊急時・災害時の用具の保管場所や扱い方についての研修を3回以上受講し理解した担当者 97% - ヒヤリハットの報告を自分が担当する活動場面に置き換えて対応を考えた教員 99% - 命を守る体制が整備され、対応や情報の共有や発信がされていると評価する保護者 95%	A	- 繰り返し訓練(各種避難訓練、不審者対応訓練、搜索訓練等)を実施し、避難の仕方や緊急時対応における役割等を理解できた。今後も具体的な想定のもと、実地的な各種訓練を行いたい。 - 避難経路図と AED 設置場所は、どの教室でも共通の場所に掲示し、校内のどこにいても確認できるようになった。 - 学校周辺地域(藤枝市や大洲地区)との繋がりの強化と具体的訓練等を実現したい。 - 通学途中での発災に対する対応について整理するとともに、保護者や児童生徒と共有したい。 - 医ケア児の災害時用具については、実際に見て触る作業が有効だったため、今後も継続する。また、在校時のみならず、「一日の流れ」の確認は発災時には必要となるため、今後も確実にしていきたい。 - 学年会でのヒヤリハットから学ぶ機会は実施できた反面、周知不足が反省点。周知の仕方や内容について、改善すべき部分を整理し続けていく。

	教職員一人一人の人権意識の向上と学校風土の醸成	・児童生徒への呼び方(さん付け)や口調、対応が常に人権を尊重したものになっていると答える教職員 100%	・児童生徒への呼び方(さん付け)や口調、対応が常に人権を尊重したものになっていると答えた教職員 100% ・教職員は人権に配慮した関わりをしていると評価する保護者 95%	A	・人権感覚チェックや人権だよりの発行、人権研修会の実施により、教職員の人権に対する知識や感覚を高めることができた。 ・教職員自らが児童生徒の一番身近な手本となる言動を今後も心掛けたい。 ・児童生徒による挨拶運動が学校全体に広がった。 ・「事務室は学校の玄関口」という意識をさらに高め、気持ちの良い来校者等の対応に心掛けたい。
	自己肯定感や人権意識の高い児童生徒の育成	・人権教育全体計画や実態に応じた年間指導計画の作成 ・自分や友達が互いに大切な存在であることを学ぶ機会を設定した教員 100%	・児童生徒自身や友達が互いに学ぶ大切な存在であることについて、学ぶ機会を設定した教員 99%	A	・人権教育全体計画及び年間指導計画を作成できた。次年度は、学習に活用できるよう周知するとともに、適宜の改善も行いたい。 ・学部や学年、学級の実態に応じて、日常的に自他を認める等の取組を行なっている。言葉で伝え合うことに加えて、掲示物等の具体物に残すなどの工夫もある。
	学習環境の整備と安全点検	・安全点検、スクールクリーンを効果的に実施し、整理整頓や環境整備のために行動を起こした教職員 100%	・安全点検、スクールクリーンを効果的に実施し、整理整頓や環境整備のために行動を起こした教職員 99% ・子どもが校内外で安全に活動するために、学校は環境整備や安全教育に取り組んでいると評価する保護者 95%	A	・毎月の安全点検に加えて、内容を具体的に示した「安全点検追加項目チェック表(5,9,1月に活用)」を作成。確認すべき箇所が明確になり、確実に点検できるようになった。また、修繕結果等を速やかに周知したことで、点検への意識付けに繋がった。 ・今後は、安全点検結果や環境整備の担当者だけでなく、学部や学年内で危険箇所等についての検討がなされるよう、働きかけたい。
イ 授業	個別的教育支援計画と個別の指導計画に基づいた授業実践	・児童生徒の根拠のある実態把握、目標設定、達成するための具体的な場面を共通理解して、その目標達成に向けて取り組んだ教員 100%	・児童生徒の根拠のある実態把握、目標設定、達成するための具体的な場面を共通理解し、その目標達成に向け取り組んだ教員 100%	A	・授業研究を通して「藤特スタンダード」(各教科の年間指導計画、各学年及び作業班の指導内容一覧)を活用した授業づくりが根付いた。校内研修から得られた成果について、わかりやすい発信に努めたい。

		- 各教科等を合わせた指導の学習評価を実施できた教員 100% - 各教科等を合わせた指導の授業実践のために、教材研究等の授業準備の時間を前年度より確保した教員 100%	「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」に基づいた目標や学習内容から、子どもの成長を感じることができたと評価する保護者 96% - 各教科等を合わせた指導の学習評価を実施できた教員 93% - 各教科等を合わせた指導の授業実践のために、教材研究等の授業準備の時間を前年度より確保した教員 87%		- 各教科等を合わせた指導の学習評価については、合わせた指導が二重構造であることや関連する教科の評価に難しさを感じている。来年度も継続して取り組み、理解を深めていきたい。 - 年間を通した計画的な「短縮週間」の設定は、一定の効果が得られている反面、その意図が十分に理解できていない反省点もある。今後は、効果的かつ計画的に活用していく方策を示し、意識をさらに高めたい。
	教職員の専門性の向上	- 教材教具や ICT 機器を大切に扱い、貸出や使用方法のルールを守って活用した教員 100% - 各種研修や自分からの学びを積極的に活用し、自身の指導力向上につなげた教員 100%	- 教材教具や ICT 機器を大切に扱い、貸出や使用方法のルールを守って活用した教員 99% - 静岡県教員育成指標の項目に応じた「藤特専門性チェックシート」を基に、各種研修や自分からの学びを積極的に活用し、自身の指導力向上につなげることができた教員 88%	A	- ICT 機器の利用頻度が上がったにも関わらずルールが守れた背景には、ヒューマンエラー情報や月末確認の共有が功を奏している。 - 自立活動に係る備品等については、学期毎の不具合や貸出の確認、修理の徹底、保管場所の整理等を確実にを行うとともに、ルールについてのアナウンスが有効だった。 - 体育課に係る用具等については、各倉庫に準備した「体育用具管理表」が有効だった。保管方法についても、ルールの徹底ができ、安全な学習環境を維持できた。 - 秋の読書週間に読み聞かせ(中学部図書委員会や級外教員による)を実施し、図書に親しむ契機となった。 「藤特専門性チェックシート」については、活用できていないと答える教員が約 11%いた。しかし、「藤特版キャリアステージ研修」の個人内成果の振り返りでは、年度当初と比較して大幅に向上しているという結果となった。これは、研修の目的や成果に対するアナウンス不足が大きな要因と考えられる。今後は、年度当初の投げ掛けに加え、要所要所での情報発

					信や価値付け等の方策を講じる。
	学習と経験のつながりを意識したキャリア教育の実施	・「キャリア教育の手引き」を活用して生活年齢に応じた授業（日生、特活、道德等）を行った教員 80%以上 ・懇談会や支援会議等の資料に活用した学年主任 100%	・「キャリア教育の手引き」を活用して生活年齢に応じた授業（日生、特活、道德等）を行った教員 93% ・懇談会や支援会議等の資料に「キャリア教育の手引き」を活用した学年主任 100%	A	・手引きの配付や手引きの内容を踏まえた進路学習会の実施、学年主任や部主事からの手引き活用の働き掛け等が教員の意識につながった。今後は、手引きの内容の理解・促進に力を入れたい。また、ニーズを把握した上で、手引きに関する学習会の実施や手引きの内容についての具体例や補足説明等を適宜行い、教職員のキャリア教育に対する実践力の向上を目指したい。
ウ 連 携	地域資源を活用した共生社会の実現を目指し、保護者、関係機関、地域との連携・協同体制の充実	・交流関係者（相手校・保護者・担当者）が目的を理解して実施、参加し、その後保護者に対して地域での活動の紹介をした教員 70%以上 ・本校の良さを理解してもらうための工夫をして、効果的に情報発信をした教職員 90%以上 ・学校運営協議会制度への理解が進んだ教職員 100% ・地域とつながる授業を計画した学年主任等 90%以上	・交流関係者（相手校・保護者・担当者）が目的を理解して実施、参加し、その後保護者に対して地域での活動の紹介をした小中学部の教員 89% ・本校の良さを理解してもらうための工夫をして、効果的に情報発信をした教職員 92% ・居住地についての情報発信（イベント、行事、作品展等）が多くあったと評価する保護者 83% ・学校運営協議会の理解が進んだ教職員 81% ・地域とつながる授業を計画した学年主任等 100%	A	・交流籍を活用した交流及び共同学習においては、希望者は100%実施できた。小学部が延べ 157 件（直接交流 131、間接交流 26）、中学部が延べ 62 件（直接交流 45、間接交流 17）実施。大変有意義な取組だが、保護者の理解や意識を高める方策が必要である。 ・地域での活動等の保護者への情報提供は不十分だった。早急に対応を明確にする。 ・学校ホームページを刷新し、より見やすく情報発信できた。今後はインスタグラムを活用したスピーディーな情報発信も取り入れる。 ・本校独自のホームページ計画に基づき全学部全学年に発信の機会を設けどの学習グループもほぼ均等に発信できた。 ・様々な地域の催し物（イベント、学習会、作品展等）は、全家庭へメール配信した。今後もタイムリーな情報発信を心掛けたい。 ・地域に出掛ける、地域の人と触れ合う、地域を知る、地域の人から学ぶ、地域で活動する、地域に伝える、地域に貢献する等々、地域とつながる授業は、どの学部においても年間を通して計画的に行なった。今後もカリキュラム・マネジメントの視点で、児童生徒の充実した学びに繋げたい。 ・正面玄関の壁面（校長室前）に、「コミュニティスク

					ール掲示板」を設置。校内関係者のみならず、来校者が眺めてくれている。さらに充実していきたい。
--	--	--	--	--	--

【焼津分校】

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
	命を守る危機管理・安全管理体制の整備と対応力の向上	・危機管理マニュアルを活用し、主体的・具体的に行動できた教員（自分の動きが分かる教員）100%	100%	A	・職員会議で危機管理マニュアルを反復確認した（4回）。危機場面を想定して避難訓練（6回）を行うことで、自分の役割や具体的な行動が分かった。 ・臨時情報発表時や発災後の対応を整えていきたい。
ア 安全・安心		・安全点検、スクールクリーンを有効に活用し、環境整備や安全対策を行った教員100%	100%	A	・安全点検を複数人の視点で行い、整備が必要と思われたことへは迅速に対応できた。引き続き安全管理に努めていきたい。
	自他を尊重し合う 人権感覚の涵養	・自分から相手に伝わる挨拶や感謝の言葉が言えた生徒・教員100%。挨拶をされた保護者・参観者100%	生徒 89% 教員 100% 保護者 97% 参観者 100%	A	・教員は生徒の手本になるよう積極的に挨拶等を行った。 ・生徒も教員も自分から挨拶や感謝の言葉が伝えられるよう高め合っていた。 ・保護者評価に教員の言葉遣いについて指摘があったので、改善を図りたい。
		・共感や相手を思いやる言動が取れた生徒・教員100%	生徒 89% 教員 95%	A	・生徒の言動の背景を共有して生徒指導を行った。 ・生徒との何気ないやり取りの中で、相手を認め対応することの大切さが再確認できた。自分を認めてくれているという気持ちを持てるよう留意していきたい。
		・人権教育全体計画に基づいて多様性や個々の良さを認め合う指導を行った教員100%	100%	A	・一人一人に良さに触れ、人権意識を様々な場面で高める取組を進めてきた。 ・生徒から教員の言動についての意見があった。教員の人権意識・感覚を更に高めたい。
		・人間関係等の困りごとの積極的把握に努め、早期に組織的に対応し	教員 94% 生徒 84%	A	・「生徒の困りごとや相談は共有して迅速に対応できた」という教員評価の一方、生徒からは「特定の先

		たと答える教員 100%	保護者 97%		生は聞いて終わり」という評価があった。 ・全ての生徒が「対応してもらえた」と思えるよう、組織として「対応」に力を注ぎたい。
イ 授業	生徒が学びを深め 確かな成長を感じる授業の充実	・授業をとおり「学んだことが分かる」「成長を感じる」ことができた生徒・保護者 90%	生徒 93% 保護者 95%	A	・生徒、保護者から「成長の自覚がある」等の声が聞かれた。 ・生徒が「何を学び、何ができるようになったのか」がわかる授業づくりを継続していきたい。
		・学習評価をし、教材研究と授業改善を行った教員 100%	94%	B	・過去の教材データも活用し、生徒の実態に合うよう教材研究をし、授業改善を行った。 ・学習評価の観点で話し合う場を持ち、授業改善につなげたい。
		・授業で I C T 端末を使い課題解決に向け活用することができた生徒・教員 100%	生徒 86% 教員 94%	B	・生徒は得意・不得意で評価。 ・I C T 端末を活用した授業が増えた。タブレットで映像を活用した取組は有効だった。 ・BYOD の導入に伴い、I C T 活用を更に進めていきたい。
	授業改善と効果的な業務遂行につながる専門性の向上	・研修での学びを授業改善や生徒指導に反映できた教員 90%	83%	B	・研修を授業や生徒理解、生徒対応等に活用しているが、今以上に授業を充実させていきたい。 ・教員が何を学びたいのかを確認し、研修の内容を決めたい。
		・業務の目標や重要点とスケジュール（期限）を自分で考え、効果的に業務を行った教員 90%	89%	B	・昨年度の反省を活かし、期限を考え効果的に業務を行えた。 ・文書提案だけでなく、実際にコミュニケーションを取り、確認することが必要である。
ウ 連携	お互いの理解が深まり、学びある交流・共同学習の充実	・交流活動の目標を達成することができた生徒 100%	82%	B	・交流の場が苦手という生徒もいるが、様々なことを学び、経験できている。 ・事前の授業で生徒が目標に向かう気持ちを高め、学びや成長が感じられる交流を続けたい。

		・双方の理解や成長を促す交流活動ができたと評価する教員、保護者、交流相手 90%	教員 100% 保護者 95% 交流相手 97%	A	・物を介した交流活動が多いため、互いに自然な交流ができている。 ・保護者にも交流活動の目標や内容、成果を周知していきたい。
	「より良い生活」「なりたい自分」に向けた本人の歩みを支える連携	・本人中心で、個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成し、活用した生徒・教員・保護者 100%	生徒 89% 教員 86% 保護者 91%	B	・キャリア面談は有意義だが、その面談で立てた目標が「個別の教育支援計画・指導計画」に反映されているという認識が教員・生徒ともに弱かった。 ・キャリア面談を行う度に、意義や活用の仕方を職員・生徒・保護者で確認し合い、「個別の教育支援計画・指導計画」に沿った取組につなげたい。
		・保護者や職場実習先、関係機関等と情報を共有し「なりたい自分」の実現に向けた支援を行った教員 100%	100%	A	・「なりたい自分」に向け、自分の強みを意識化した。自分の強みを実習先で発揮できた生徒は自信をつけ、更に成長に向け努力する良いサイクルができた。 ・引き続き保護者に進路情報を発信し、「なりたい自分」の実現に向けた支援を継続していく。

(2) 令和7年度取組目標・達成方法・成果目標

【本校】

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア 安全・安心	命を守る危機管理体制の整備と共有	・緊急時対応の体制整備 ・様々な想定での訓練の実施 ・ヒヤリハットからの学びの共有と実践	・緊急時での自身の役割が分かり、具体的な行動を考えた教職員100% ・担当する医ケア児の災害時の用具の保管場所や扱い方についての研修に3回以上参加し、理解した参加者100% ・ヒヤリハットを担当する活動場面に置き換えて対応を考え実践した教員100%	危機管理 生徒指導 体育 保健給食 医ケア主任 保健給食
	教職員一人一人の人権意識の向上と学校風土の醸成	・児童生徒の人権を尊重した教育活動の推進	・児童生徒にとって手本となるような呼び方(さん付け)や口調、対応が常に人権を尊重したものになっている教職員100%	生徒指導 学部 学年主任 事務
	自己肯定感や人権意識の高い児童生徒の育成	・発達段階に応じた人権教育の推進	・年間指導計画に基づいた人権教育を実施した教員100% ・自分や友達が互いに大切な存在であることを学ぶ機会を設定した教員100%	生徒指導 学年 学部 学年主任

	学習環境の整備と安全点検	・非常時や日常的な安全確認の視点からの学習場所における環境の見直し	・安全点検、スクールクリーン等を効果的に活用し、安全な教育活動や職場環境の整備のために行動した教職員100%	総務 学部 事務 学年主任 作業班長
イ 授業	個別の教育支援計画と個別の指導計画に基づいた授業実践	・「ともに学び、力強く活動する人を育てる」をテーマとする校内研修の実施	・児童生徒の根拠ある実態把握、目標設定、達成するための具体的な場面を共通理解して、その目標達成に向けて取り組んだ教員100%	自立活動 研修 学部 学年主任
			・各教科を合わせた指導の評価を実施した教員100%	研修
		・目的に合った効果的な短縮週間の活用	・短縮週間を使って各教科等を合わせた指導の授業のために、教材研究等の授業準備や個別の指導計画の作成、記入、見直し等の時間を確保した教員100%	教務 研修 学年主任 作業班長
	教職員の専門性の向上	・教材教具やICT機器の活用	・教材教具やICT機器を、実態を考慮し効果的に活用した教員100%	情報教育 研修 自立活動 体育 図書学習
		・藤特版キャリアステージ研修の実施と資質向上	・自己の学びの目的を明確にして各種研修等に参加することで、キャリアステージに応じた資質向上につなげた教員100%	図書学習 各分掌 中堅研該当者
ウ 連携	学習と経験のつながりを意識したキャリア教育の実施	・「キャリア教育の手引き」の活用についての理解	・「キャリア教育の手引き」を活用して生活年齢に応じた授業（日生、特活、道德等）を行った担任90%以上	キャリア教育 学年主任
		・保護者や関係機関と連携した支援体制とキャリア教育の実施	・懇談会や支援会議等の資料として「キャリア教育の手引き」を効果的に活用した学年主任100%	学年主任 地域連携 キャリア教育
	地域資源を活用した共生社会の実現を目指し、保護者、関係機関、地域との連携・協同体制の充実	・学校間交流、「交流籍」を活用した交流及び共同学習からの生活の広がり	・交流関係者（相手校・保護者）が目的を理解して実施、参加し、その後の保護者に対して地域での活動の紹介をした教員90%以上	地域連携 学年
		・作業製品の販売、作品等展示、HP等の更新やボランティアの受け入れ等地域への積極的な発信	・本校の良さを理解してもらうための工夫をして、効果的に発信した教職員90%以上	学部 図書学習 地域連携 情報教育 管理職
		・コミュニティースクールを活用した地域との共同活動の実施	・学校運営協議会制度への理解が深まった教職員100%	地域連携 企画会

			・地域とつながる授業を年間指導計画に位置付け、実施した学年主任等90%以上	地域連携 学年主任 作業班長
--	--	--	---------------------------------------	----------------------

【焼津分校】

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 安全・安心	命を守る危機管理・安全管理体制の整備と対応力の向上	・状況に適した危機管理マニュアルの改訂とその内容の周知 ・様々な想定での訓練の実施	・南海トラフ地震臨時情報発表時や災害等緊急時における緊急連絡体制、引き渡しの流れ等について理解している教員 90%緊急時の対応を理解している保護者 90% ・不審者・緊急時・登下校途上での発災時に自分がどう動いたら良いかわかる生徒 90%	生徒指導 保健体育 学年
	教職員一人一人の人権感覚の向上と人権意識の高い生徒の育成	・人権を尊重した教育活動の推進 ・困りごとの積極的把握と早期対応	・生徒の手本となる行動を意識し、人権を常に尊重して対応できた教員 100% ・相手に気持ちの良い言葉遣いで話すことができた生徒、教員 100%、言葉遣いが良いと感じた保護者 100% ・人間関係等の困りごとの積極的把握に努め、早期に組織的に対応した教員 100%、早期に対応してもらえたと答える生徒・保護者 100%	学年 生徒指導 教務・連携
イ 授業	生徒が学びを深め、確かな成長を感じる授業の充実	・「なりたい自分に向かって、自分の持てる力を発揮できる授業づくり」をテーマとする校内研修の実施 ・保健・体育の授業の充実 ・ICT 端末活用の促進	・適切な実態把握と目標設定、学習評価を行い、授業改善や生徒指導を行った教員 90% ・授業をとおして、「学んだことが分かる」「成長を感じる」ことができた生徒・保護者 95% ・授業で ICT 端末を使い、課題解決に向け活用することができた生徒・教員 100%	研修・学習指導 保健体育
	目的を明確にした効果的な業務の遂行	・教職員の専門性を高めるための時間の確保（短縮週間の設定、専門性向上研修の実施、作業班会月 1 回等）	・ICT を活用して、単元の反省や情報共有を行い、次の授業づくりや進捗状況の共有、引継ぎ等を行った教員 90% ・自己の学びの目的を明確にして各種研修などに参加することで、キャリアステージに応じた自身の資質向上につなげた教員 100%	研修・学習指導 学年
ウ 連携	共生社会の実現を目指し、学びある交流・共同学習の充実	・目的や目標を明確にした交流・共同学習の計画的実施	・焼津分校ならではの活動をとおして、焼津分校のことを積極的にアピールした生徒・教員 100% ・目的や目標を明確にした事前学習を行い、生徒の気持ちを高めて交流・共同学習につなげた教員 100%	教務・連携 学年

	「より良い生活」 「なりたい自分」 に向けた本人の歩 みを支える連携	・キャリア面談や三者面談の計画的実施と内容の充実 ・生徒の自己理解を深める進路指導、キャリア教育の充実	・意義や活用の仕方、個別の指導計画等とのつながりを確認してキャリア面談や三者面談が行えた教員 100% ・本人中心で、個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成し、活用した生徒・教員・保護者 90% ・キャリア教育・職業に関する学習をとおして自己理解が深まり、なりたい自分を描くことができた生徒 90% ・なりたい自分を実習先等関係機関に伝えることができた生徒・教員 90% ・進路に関する情報を担任や進路担当から得ることができた生徒・保護者 90%	教務・連携 進路 学年
--	---	--	--	-------------------

4 監査対象期間における特色ある取組

【本校】

年度	取組概要	成果及び課題
6 年度	命を守る危機管理体制の整備と共有	・危機管理マニュアルは、随時更新・変更している。有事には危機管理委員会を開き、情報収集と対応検討を行い、全教職員および保護者に周知した。 ・児童生徒の健康安全に係る取組としては、緊急時対応訓練、緊急搬送体制の連絡図作成と周知、ヒヤリハット事例の周知を行った。加えて、藤枝警察署員の立ち会いの下、全教職員による不審者対応訓練を実施した。不審者への対応や他の職員への情報伝達について確認ができた。一方で、児童生徒の安全確保の方法や全校放送の文言について見直しが必要となった。 ・医療的ケアに係ることは、ケアの手順やトラブル対応についてマニュアルの内容や書式を見直した。保護者と連携し防災BOX(5日分の食料とケア物品)を整えた。職員研修として、医ケア緊急時対応訓練や医ケア機器の取扱講習(人工呼吸器)を実施した。医療的ケアの内容は個別性が高いため、安全かつ効率的にケアを実施するために今後も検討・修正・周知を続けていく。
	教職員一人一人の人権意識の向上と学校風土の醸成	・児童生徒を「～さん付け」で呼ぶなど、適切な関わりや対応を教職員全体で意識している。また、児童生徒の生活年齢に応じつつ、一人一人の人権を意識した関わりについて共通理解することを大切にしている。 ・具体的な取組としては、児童生徒に対しては、互いのいいところ探しや掲示物等を活用しての相互称揚、生徒会を中心とした挨拶運動、〇〇賞などの奨励などを行った。教職員に対しては、児童生徒の情報共有、人権に係る研修会、人権チェック、人権便りの発行等を行った。

	個別の教育支援計画と個別の指導計画に基づいた授業実践	・自立活動課が中心となり、自立活動の考え方(視点)から、児童生徒の実態把握を丁寧に行い、それに基づき中心課題を探った。その課題解決(または軽減)に向けて必要となる具体的な指導内容、場面、方法等について全教員で研修した。併せて「藤特スタンダード」を活用して学習課題の設定、授業実践、振り返りのサイクルを実践した。
	学習と経験のつながりを意識したキャリア教育の実施	・本校作成の「キャリア教育の手引き」を活用し、教職員向けの学習会(全体、学部、学年)を実施した。これらにより、教職員間では、「進路は高等部だけの問題ではなく、小学部から実践しているという意識が浸透してきた。 ・児童生徒の発達段階や学部間のつながりを意識した学習内容の設定や生徒指導を意識することが大切であるということに気づく学年主任等も増えてきた。 ・教員が学んだことを面談等で保護者に伝えることで、保護者の意識改革にも繋がっている。
7 年度	命を守る危機管理体制の整備と共有	・雨天時等グラウンドへの避難が不可能な状況を想定し、校舎内への安全な避難について検討し訓練を実施した。 ・風水害に関する対応について情報収集及び判断等、対応の見直しを図りマニュアル化した。 ・藤枝市福祉政策課と連携し、発災時の地域との連絡体制や福祉避難所開設について協議を行った。 ・南海トラフ等大規模災害発生時の被害想定に基づき児童生徒が学校留め置きになった場合の想定を行うことで発災時の対応に関する課題を明確にした。今後は、危機管理マニュアルの見直しを図る。
	教職員一人一人の人権意識の向上と学校風土の醸成	・人権研修やコンプライアンス研修等を実施し、教育公務員としての意識の向上とともに、人権意識に基づく子ども観、教育観の転換を図った。特別支援学校で起こり得る不適切な指導について小グループによる事例検討を行うことで、日頃の指導の見直しを図った。 ・今後は対応困難な事例の対応について、学部全体で共有、検討する仕組みの構築を図る。 ・管理職や人財サポート担当との面談を通して、職員の状況を把握するとともに、関係性の構築を図り、心理的安全性の高い組織づくりを目指す。
	教職員の専門性の向上	・藤特専門性チェックシートを用いて、自身の専門性について自己評価、分析できるようにした。また、既存の校内研修を静岡県教員育成指標と紐づけ、研修での学びを体系的に価値づけることで主体的な学びにつながる仕組みを作っている。 ・カリキュラム・マネジメントについて、教員育成指標の段階毎に目指す姿や実践を明確にした。グループ研修を通して、個々に取り組んでいることをカリキュラム・マネジメントの視点で価値づけ、学校経営への参画意識の向上を図っている。

【焼津分校】

年度	取組概要	成果及び課題
6 年度	危機管理・安全管理体制の整備と対応力向上への取組	・危機管理マニュアルを全教員に配布し、自分で確認できるようにした。また職員会議内に 10 分程度の研修時間を設定し、年間 8 回、危機管理マニュアルを見直した。対応方法を反復確認することが、対応力の向上に役立った。 ・学校運営協議会の校内参観時に、委員に安全点検を行ってもらい、外部意見を聞き対応した。 ・一つの安全点検箇所に対し、奇数月担当・偶数月担当と 2 人の教員が担当することで、複数の目でチェックするようにした。要対応箇所は、全て整備・改善した。
	生徒が学びを深め、確かな成長を感じる授業づくりの充実	・「主体者として責任をもって行動できる力を高める授業づくり」をテーマとする校内研修を行った。生徒の責任をもった姿を具体的に出し合い、系統化し、目指す姿を明確にした授業づくりを行った。 ・ステカ（育成を目指す資質・能力を項目ごと段階的に簡易な言葉とイラストで示した流山高等学園が作成したカード）を使うことで、生徒が正しく自己評価できるようになり、目標を設定・意識して行動することを繰り返すことで習慣化することができた。またステカには「責任」の項目がないので、「責任をもった姿」を出し合い、まとめ、責任に関する分校バージョンのステカを作成した。 ・授業や「キャリア面談」でステカを活用しながら、教員や生徒がステカの使い方や振り返りでの活用の仕方について、さらに理解を深める必要がある。
	焼津水産高校との共生・共育への取組	・「マラソン記録会」「エンジン分解」「実習船体験乗船」「文化祭（水高祭でのステージ発表・販売）等の交流を年間 24 回実施した。生徒がお互いに思い合って話したり、活動に取り組んだりすることが、仲間を増やしたり、学びを深めたりすることにつながった。 ・交流活動の目的や目標を明確にした上で実施した。交流終了後のアンケートでは、両校のほぼ全生徒が目標達成したと回答。双方の理解が深まり、自身の成長が感じられる交流となった。
	「なりたい自分」に向けた本人の歩みを支える取組	・本人と担任で「キャリア面談」を計画的に実施し、キャリア面談シートを記入しながら、自己理解を深めたり、「なりたい自分」になるために「今何をするか」「どこまでできたか」を話し合ったりして、本人中心で個別的教育支援計画・個別の指導計画を作成した。 ・三者面談時、自分の目標や取組を保護者に説明できた生徒が半数以上いた。本人主体で歩みを支える教員の意識が高まってきた。
7 年度	危機管理・安全管理体制の整備と対応力向上への取組	・危機管理マニュアルの見直しをし、南海トラフ地震情報調査中時の対応を修正、職員・保護者に再周知した。 ・7 月の津波警報を受け、津波警報発令時の対応の見直しをするとともに、生徒の居住地、登下校方法が地図上で確認できる資料を作成した。 ・学校運営協議会では前年度からの継続で、校内参観時、委員に安全点検を依頼し、外部の目で校内の危険箇所の洗い出しをし、適宜対応をしていく。
	困りごとの積極的把握と早期対応	・毎週木曜下校前、全生徒に『木曜アンケート』を実施。気になることや不安、心配事などを記入できるようにし、積極的に生徒の困りごとを把握し、問題が大き

		なる前に対応するようにしている。生徒が発した言葉の意味を丁寧に聞き取り、お互いの認識にずれが生じないようにする必要がある。
	生徒が学びを深め、確かな成長を感じる授業の充実	・「キャリア面談」で生徒の思い、実態、教員の願いをすり合わせ、ステカの態度姿勢・作業力・責任感の大項目からそれぞれ一つずつ小項目を決め、作業学習(自主生産・地域)、集中作業で複数回振り返り、評価を行った。生徒自身が自分の目標を意識したり、生徒と担任や授業担当が目標を共有したりすることができた。様々な場面で具体的にどのように活用できたかについては、今後検証していく。 ・授業で ICT 端末の使用が校内で重複し、不足することがあったため、他校よりクロームブック 20 台の管理換えを行い、二学期から使用できるように整備した。ICT 端末を課題解決に向け、「調べる」だけでなく意見の表出や他者と協働することに活用できるようにしていきたい。
	共生共育への取組 ・焼津水産高校との交流・共同学習 ・その他地域交流	・昨年度並みに実習船壮行式、体育大会、文化祭などの行事での交流、お互いの授業をお互いに教わりながら体験したり、水高の先生の授業を受けたりする授業交流を行った。事前学習で交流(ふれあいや関わり)と共同学習(学習内容)の2つの目標を立て、活動に見通しをもつことで、前向きに活動に取り組み、関わり合うことができた。また事後学習で目標の振り返りをし、学んだことや関わりの中で感じたことを書いて整理することに取り組んだ。 ・授業での生徒の発信から、年間計画以外で水高教員に指導を依頼することや体育大会の種目内容を分校生徒に対応できるよう修正をするなど、同じ敷地で生活する中で少しずつではあるが教員間での生徒理解や歩み寄りを感じるがあった。 ・週1回の地域作業、地域施設から依頼された物の制作、幼保園児との交流、市場調査アンケートなど地域に出向いての活動が充実し、依頼・感謝される経験が生徒たちの意欲や自信につながっている。 ・地域活動部を立ち上げ、海岸清掃や魚市場見学、地域イベントへの参加(雨天中止)、焼津中央高校と協同でのギネス記録挑戦など、学校外での地域貢献活動を行った。学校所在地焼津について知り、地域とつながる活動を今後広げていきたい。
	「なりたい自分」に向けた本人の歩みを支える取組	・研修と連動しステカを活用しながらキャリア面談を実施することで、「なりたい自分」というワードが教員、生徒に浸透し、それに向けて何に取り組んだらよいのかを、生活全体で考え、取り組んでいく姿が見られた。 ・年度当初にキャリア面談の目的や個別の教育支援計画、個別の指導計画、三者面談とのつながりについての学習会を実施。適切な時期に教務・連携課より情報提供がされた。実際の面談場面でどんなことを、どのように話をすすめていくかは各担当に任されているので、個々の教員の資質向上が求められる。

5 教職員について

(1) 異動状況

区分		本務職員									任期付・臨時的任用職員、会計年度任用職員								合計
		校長	副校長	教頭	事務長	教諭	主査	主任	主事	小計	教諭 (任期付・臨時)	非常勤講師 (非常勤)	非常勤講師 (非常勤)	非常勤嘱託員 (非常勤)	非常勤勤務職員 (非常勤)	就労促進専門員	スクール カウンセラー	小計	
本校	転出		1			24			1	26	1							1	27
	退職	1			1	4				6	14	7		3	13	1	1	39	45
	転入	1			1	18				20	3							3	23
	新任		1			7			1	9	13	5	1	6	13	1	1	40	49
	再任用					1				1								0	1
	任用					3				3								0	3
差引増減		0	0	0	0	-1	0	0	0	-1	1	-2	1	3	0	0	0	3	2
焼津分校	転出					1		1		2								0	2
	退職		1			1				2	1				1			2	4
	転入			1		2	1			4	1							1	5
	新任									0	2				1			3	3
	再任用									0								0	0
	任用									0								0	0
差引増減		0	-1	1	0	0	1	-1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	2
増減合計		0	-1	1	0	-1	1	-1	0	-1	3	-2	1	3	0	0	0	5	4

(2) 現員数

区分		本務職員										任期付・臨時的任用職員、会計年度任用職員										合計
		校長	副校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	栄養教諭	主査	主任	主事	小計	教諭 (任期付・臨時)	養護教諭 (任期付・臨時)	非常勤講師 (非常勤)	非常勤講師 (非常勤)	非常勤嘱託員	非常勤勤務職員	就労促進専門員	スクール カウンセラー	小計	
本校	職員数	1	1	1	1	153	2	1	1	1	163	25	1	5	1	6	13	1	1	53	216	
標準分校	職員数	0	0	1	0	16	1	0	1	0	19	3	0	0	0	0	1	0	0	4	23	
合計		1	1	2	1	169	3	1	2	1	182	28	1	5	1	6	14	1	1	57	239	

(3) 健康管理について

ア 健康診断（結核検診、生活習慣病検診等）の全員受診を推進し、要再検査者の受診を徹底して、疾病の早期発見・早期対応に努めている。

イ 精密検査や治療等の受診を勧奨し、積極的な把握に努め、必要に応じて管理職や衛生管理者が個別面談を行い、事後措置の徹底に努めている。

ウ 学校職員衛生委員会を毎月開催し、適宜、健康管理医の指導・助言を仰ぎ、心身の健康問題の検討やその改善に努めている。

エ 全職員が年1回のストレスチェックを受検することにより、ストレスへの気づきを促し、対処を支援している。

(4) 教職員の研修について

【本校】

研修名	目的・研修内容	成果及び課題
授業研究	令和6年度は「ともに学び、力強く活動する人を育てる」を研究主題とし、「学習評価を大切にした授業づくり」を副題として研究に取り組んだ。	令和5年度に作成した藤特スタンダードや年間指導内容一覧を活用し、各教科等を合わせた指導の授業づくりを行った。根拠のある実態把握や目標設定、学習評価をし、児童生徒が「何が身に付いたか」という学習の成果を実感できるような実践を重ねることができた。 今後も、学習指導要領に準拠した学習評価を行うとともに、各教科等を合わせた指導を行う意義について、引き続き共通理解を図っていく必要がある。
	令和7年度は、引き続き「ともに学び、力強く活動する人を育てる」を研究主題とし、「児童生徒が『解決したい課題や問い』をもち、できるようになったことを実感することができる授業づくり」を副題として研究に取り組む。	本校が各教科等を合わせた指導において育てたい力を確認し、単元設定を行うことで、児童生徒が解決したい課題や問いをもち、できるようになったことを実感する授業づくりを目指していく。 助言者を招聘した班別の授業研究を年2回実施した。事後研究では、見取った児童生徒の姿から課題設定や支援の工夫について検討を行った。
個別の各計画研修	個別の教育支援計画 個別の指導計画	・年度当初に職員向け基本研修を実施し、作成の根拠や作成目的、作成日程等を確認した。 ・目標設定においては、学習指導要領の各段階に応じて記入することについて、学部ごとに確認した。 ・担当分掌課員より作成時期、表記等の連絡を定期的に行い、各学部の職員への周知も図れている。 ・目標設定や評価については、校内研修を通してより個々の実態に迫ったものへとつながられるようにした。 ・今後は、県の様式統一に伴い、作成目的や手順について周知するとともに、授業を通じた評価改善のサイクルを確認実施していく。
学校安全研修	【研修目的】 教師間で危機管理に関する意識を高め、危機を予測し、未然に対応するための情報を共通理解する。 【研修内容】 年度当初に危機管理研修を実施し、学校事故防止及び事故や災害の発生時における教員の対応、情報機器の扱いについて共通理解を図った。 また、心肺蘇生等救急法研修、夏季防災研修も実施した。	【生徒指導課】 年度当初に不審者対応、行方不明捜索、登下校の安全把握についてのポイントを説明し、共通理解を図った。更に不審者侵入や児童生徒の不明等を想定した訓練を行うことで、全職員が実際の動きを確認することができた。また、対応の課題を明確にし改善することができた。 【情報教育課】 年度当初に、「個人情報の保護について」「情報機器の取り扱い」などについて注意喚起をすることで全職員が共通認識をもって業務を行うことができた。「生成AI」等の新たなツールや取組については、県の方針に基づき、適宜職員等へ周知している。

			【保健給食課】 年度当初に「事故発生時の救急体制」「感染症予防」「児童生徒の健康管理」といった保健に係る研修と、「食物アレルギー対応」等の給食に係る研修を行い、全職員で確認できた。 【危機管理課】 年度当初に、本校の災害想定や大規模地震や風水害等に対する対応について共通理解を図った。
専門性向上研修	意識啓発研修	【研修目的】 人権感覚やハラスメントに関する正しい知識や理解を深めたり、自身の日常の指導を振り返り、良いところや改善すべきところを確認したりする。 【研修内容】 人権を意識した指導(ハラスメント、体罰、不適切な言動のない指導)についての講話を聞いたり、グループ内での意見交換を行ったりした。	人権に関する基本的な知識について学んだり、具体的事例からハラスメントや体罰、不適切な指導について考えたりすることができた。子どもにやらせるのではなく、肯定的な子ども観に立ち、日頃の指導を見直す意識を醸成することができた。引き続き、お互いのよさを認め合うとともに、気になる言動について、伝えあえる風通しのよい職場づくりを目指していく。
	各分野についての研修	【研修目的】 特別支援学校教員に必要な専門性に関する知識技能を学び、授業などに生かす。 【研修内容】 カリキュラム・マネジメント、各教科等を合わせた指導、授業づくりワークショップ、ICT研修等、講師を招聘する研修や、中堅教諭を中心に校内職員の専門性を発揮した研修等を実施した。	夏季休業中は、藤特版キャリアステージ研修として、専門性向上に向けた研修を多岐に渡って実施した。専門性チェックシートの内容と研修内容を紐づけることで、自身の専門性向上に向けた研修参加を意識づけることができた。また、職員向けに「教材・教具・教科書の紹介コーナー」を設置し、授業づくりへの意欲の向上を図った。 随時教材教具や教育書籍、研修会などの案内を行い、学び続ける教員の育成を図っている。 今後も特別支援学校教員の専門性を高めるため、職員集団の実態やニーズに応じた研修を行っていく。

【焼津分校】

研修名		研修内容	成果及び課題
基本研修	授業研究	<6年度> テーマ「主体者として責任をもって行動できる力を高める授業づくり」 昨年度から一歩先の姿として、自分の言動に責任をもつ姿を引き出す授業づくりを研修していく。	- 生徒の責任をもった姿を具体的に出し合い、系統化し、各作業班で目指す姿を共通理解して授業づくりを行った。 - ステカ（育成を目指す資質・能力を項目ごと段階的に簡易な言葉とイラストで示した流山高等学園が作成したカード）を使って、生徒が自分の力を知ったり、目標を設定したりすることで、観点別評価の充実を図った。 - ステカには「責任」の項目がないので、共通理解した責任ある姿を整え、分校バージョンのステカを作り、それを授業で活用して、生徒が確かな成長を感じられるように取り組んだ。

		<7年度> テーマ「なりたい自分に向かって、自分の持てる力を発揮できる授業づくり」～地域作業と校内作業をつなぐ～ 作業学習を窓口生徒、教員のステカへの理解を深め、活用をしていく。	・キャリア面談で生徒のなりたい自分の姿を具体的に教員と共有することができた。また担任と作業班や地域作業の担当教員と生徒のなりたい姿を情報共有し、支援、指導するようにしている。
	個別マニュアル研修	・年間指導計画の作成 ・生徒プロフィール ・個別の教育支援計画 ・個別の指導計画 ・指導要録	・年度初めに職員向けの研修を行い、作成の根拠や目的、作成上の留意点等を説明し、理解を図った。 ・実態・目標について、授業研究や他の校内研修を活用し、より細やかで具体的な把握・設定ができるようにしていきたい。
	危機管理マニュアル研修	〈危機管理・安全管理体制の確認〉 ・災害対策 ・事件事故対応 ・傷病者発見時の対応 ・情報事故防止	・危機発生に備え、危機管理体制と具体的な対応方法について、危機管理マニュアルを活用し、全職員で確認した。 ・情報機器の取り扱いの研修に加え、年度初めに個人情報の取り扱いについてのルールの確認を行った。またグーグルクラスルームや生成AIの活用についての学習会を実施した。
専門性向上研修	授業力に関わる研修	<特別支援教育基礎> ・青年期にある発達障害児のあらわれと自己理解への支援 <自立活動> ・自立活動の目標設定、評価 ・情動調整と行動調整 <保健体育> ・姿勢と怪我の防止	・担当の分掌課が企画をし、校外の専門家を講師として招いたり、校内職員が講師となったりして研修を行った。 ・研修を通し、生徒との対話を促す工夫や自己理解を促すための支援など、指導場面ですぐに活用できることを学ぶことができた。 ・今後も授業改善に反映できるようなニーズに応じた研修を行っていきたい。
	生徒指導力に関わる研修	<生徒理解> ・生徒理解 ・健康管理(アレルギー対応含む) <人権> ・人権教育職員研修 ・不祥事根絶研修 <キャリア教育> ・進路研修 - 進路指導のおさえ - 実習マナー - キャリア教育グランドデザイン - 高等部在学中に伸ばしたい力	・年度当初に全生徒の実態や配慮事項等を全職員で共通理解する時間を設定した。縦割りの授業が多いため、必要な時間と捉えている。全職員で全生徒を支援していくという意識をもつようにしたい。 ・人権、不祥事根絶研修を行ったことで、生徒指導に係る共通ルールや生徒指導の在り方を職員間で共通理解できた。生徒にとって最も身近な社会人として、手本となる言動に心掛け、自他を尊重し合う人権意識をもって生徒指導を行うことができている。 ・進路指導の手引きを使い、3年間の流れや外部機関との連携、生徒・保護者への進路指導に活かしている。 ・進路課職員や外部講師から、進路指導の基本や最新情報を得て、生徒・保護者へ適切に情報提供できるようにしている。 ・進路指導を日々の指導の延長上にあるものと考え、個別の教育支援計画・指導計画、ステカ、作業日誌などつなげながら自己実現に向けて、本人を中心に学校、

		保護者、関係機関で支援することに努めている。
教育業務遂行力・組織運営力に関わる研修	<安全対策力> ・防犯研修 ・緊急時対応訓練 <業務遂行力> ・職場の健康づくり <危機管理力> ・防災研修	・担当分掌で事前にニーズを把握した上で、今必要な情報が得られる研修となるよう研修内容について講師と連絡を取り合い実施した。 ・研修を通して気づくことができ、新たな知識や情報を得ることができ、充実した研修が実施できた。

6 防災対策について

【本校】

防災対策委員会を組織し、危機管理課を核に学校経営の重点課題の一つとして取り組んでいる。

目標具現化の柱として掲げている安全・安心で命を守るため、学校での避難訓練、自宅での災害時の過ごし方、地域防災訓練への参加等の理解を促すため、危機管理課を中心に理解啓発及び支援を進めている。また、下校時を想定したスクールバス避難訓練や児童生徒の学校留め置き時を想定し、各学部で寝袋体験や非常食体験を実施している。

- (1) 教具・棚等の固定、非常用食料の用意、常備薬の保管、防災備品の整備を行う。
- (2) 防災用品の紹介について掲示板等を用いて職員に発信する。
- (3) 藤枝市との連携で、藤枝市から福祉避難所の指定を受けている。
- (4) P T A組織の中に、地区単位の防災対策部を設置し防災についての意識の高揚を図る。
- (5) 様々な想定での防災学習会、避難訓練を通して、児童生徒及び教員の危機対応力を高める。
- (6) 地域の防災訓練への児童生徒、教職員の参加を促す。

<地震・防災訓練実施状況>

年度	月 日	内 容	備 考
6 年度	6. 4. 4	危機管理研修	教職員対象
	6. 4. 19	避難訓練（地震）避難経路の確認	児童生徒・教職員
	6. 5. 17	引渡し訓練 （小1、4、中1、高1、転入生）	児童生徒・保護者・教職員
	6. 6. 14	非常食・寝袋体験（小学部）	児童生徒・教職員
	6. 7. 11	起震車、煙体験（小学部）	児童生徒・教職員
	6. 7. 22	避難所体験（高2）	生徒・教職員
	6. 7. 29	職員防災研修	教職員
	6. 9. 3	水消火器訓練、非常食体験（中学部）	生徒・教職員
	6. 10. 21	避難訓練（火災）避難経路の確認 通報訓練	児童生徒・教職員
	6. 12. 9 ～13	予告なし避難訓練（地震・火災）	児童生徒・教職員
	7. 1. 21	スクールバス運行中の避難訓練 （全路線）	児童生徒・保護者・教職員
		地域防災訓練への参加	児童生徒・教職員
7 年度	7. 4. 4	危機管理研修	全職員対象
	7. 4. 18	避難訓練（地震：屋内避難）	児童生徒・教職員

7. 5. 9	引渡し訓練 (小1、4、中1、高1、転入生)	児童生徒・保護者・教職員
7. 6. 11	避難訓練(地震:屋外避難)	
7. 6. 12	非常食・寝袋体験(小学部)	児童生徒・教職員
7. 7. 10	起震車、煙体験(小学部)	児童生徒・教職員
7. 7. 16	非常食体験(高等部)	生徒・教職員
7. 9. 3	職員防災研修	教職員
7. 9. 8	非常食体験(中学部)	生徒・教職員
7. 10. 15	避難訓練(火災)避難経路の確認 通報訓練	児童生徒・教職員
7. 11.11	避難訓練(小学部)	
7. 12月	予告なし避難訓練(地震・火災)	児童生徒・教職員
8. 1. 14	スクールバス運行中の避難訓練 (全路線)	児童生徒・保護者・教職員
	地域防災訓練への参加	児童生徒・教職員

【焼津分校】

生徒の生命を守ることを第一とし、人的・物的被害を最小限に止めるため、焼津水産高等学校との連携を考えた防災マニュアルを作成する。また、生徒自身が自分の身を守ることができるように防災教育に取り組む。

＜地震・防災訓練実施状況＞焼津水産高等学校と連携して実施

年度	月 日	内 容	備 考
6 年度	6. 4. 4	防災研修(危機管理マニュアル確認)	教職員
	6. 4. 10	防災訓練(地震・津波/避難経路確認)	生徒・教職員
	6. 5. 20	防災訓練(地震・火災/避難方法確認)	生徒・教職員
	6. 7. 9	ジュニア防災士養成講座	2・3年生徒
	6. 7. 18	防災訓練(大津波/水産高校合同)	生徒・教職員
	6. 7. 29	防災研修(発災時対応・備蓄品等確認)	教職員
	6. 10. 21	防災訓練(緊急地震速報/居住地域別防災学習)	生徒・教職員
	6. 12. 19	防災訓練(地震・火災/発災時の身の守り方)	生徒・教職員
	7. 2. 19	防災訓練(地震・火災/予告なし)	生徒・教職員
		地域防災訓練への参加	生徒・教職員
7 年度	7. 4. 4	防災研修(危機管理マニュアル確認)	教職員
	7. 4. 10	防災訓練(地震・津波/避難経路確認)	生徒・教職員
	7. 5. 21	防災訓練(地震・火災/避難方法確認)	生徒・教職員
	7. 7. 17	防災訓練(大津波/水産高校合同)	生徒・教職員
	7. 7. 29	防災研修(発災時対応・備蓄品等確認)	教職員

	7. 9. 16	ジュニア防災士養成講座	2年生徒
	7. 10. 21	防災訓練（緊急地震速報/居住地域別防災学習）	生徒・教職員
	7. 12. 18	防災訓練（地震・火災/発災時の身の守り方）	生徒・教職員
	8. 2月	防災訓練（地震・火災/予告なし）	生徒・教職員
		地域防災訓練への参加	生徒・教職員

7 学校開放について

地域に開かれた学校を目指し学校施設開放委員会を設置し、スポーツ活動、文化活動をはじめとする生涯学習活動振興のため施設等を開放している。

【本校】

<令和6年度>

施設名	利用日数	利用人数	利用目的	利用者負担金
運動場	82日	1,720人	サッカー等	0円
体育館	0日	0人		0円
その他	0日	0人		0円

<令和7年度>

(令和7年7月31日現在)

施設名	利用日数	利用人数	利用目的	利用者負担金
運動場	18日	358人	サッカー等	0円
体育館	1日	11人	障害児健康増進等	0円
その他	0日	0人		0円

【焼津分校】 なし

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第74条、第76条、第77条、第82条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 学校給食法（第4条） 特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（第3条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学指導委員会規則 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 特別支援学校高等部学習指導要領
2 学校の管理・運 営 に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第2条、第3条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱

□□□□□□

学 校 施 設 の 概 要

1 面積及び所有区分

(1) 本校

(令和7年7月31日現在)

区 分		面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
			県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地		20,629.66	19,781.66	89.00			759.00	
内 訳	校 舎 敷 地	13,749.64	13,749.64					
	運 動 場 敷 地	5,653.05	5,653.05					
	その他の敷地	1,226.97	378.97	89.00			759.00	個人
校 舎		建 4,174.78 延 9,414.21	4,174.78 9,414.21					
体 育 館		建 735.14 延 550.00	735.14 550.00					
そ の 他 の 建 物		建 173.85 延 163.48	173.85 163.48					
プ ー ル		1 個	1 個					大 20m × 8m 小 8m × 4m

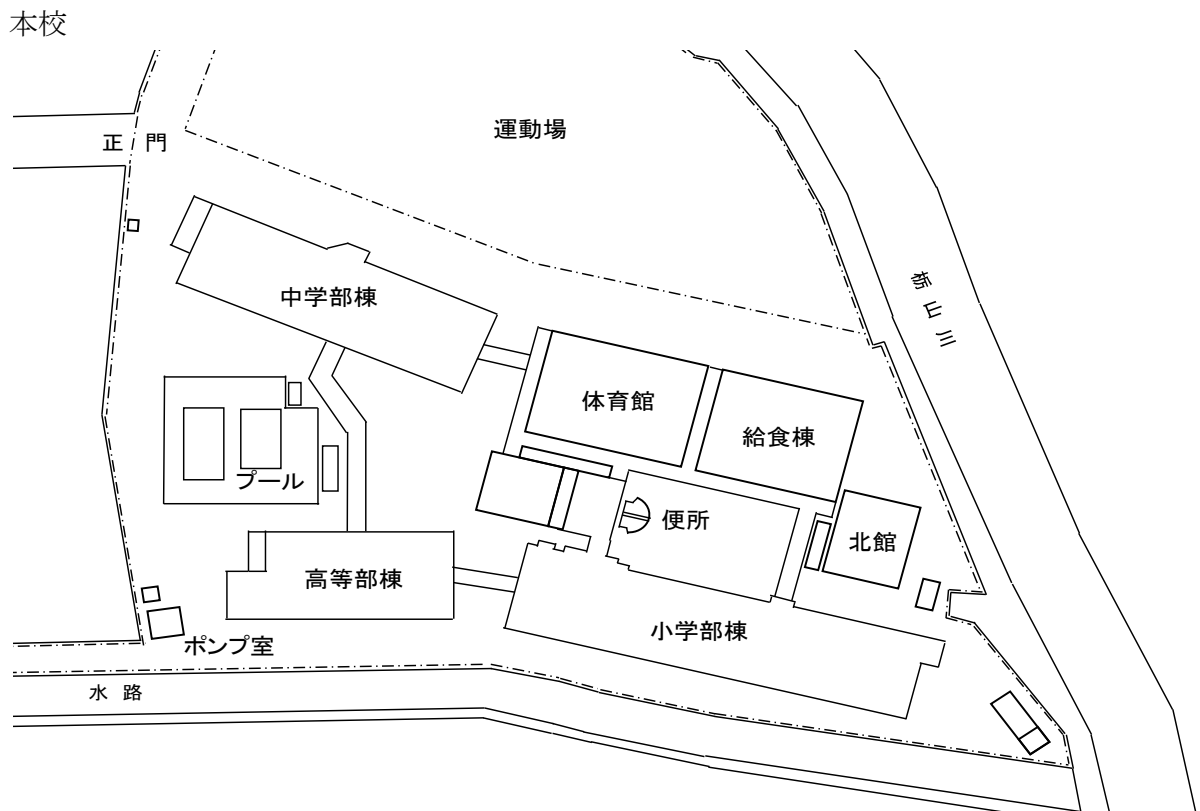
(2) 焼津分校

(令和7年7月31日現在)

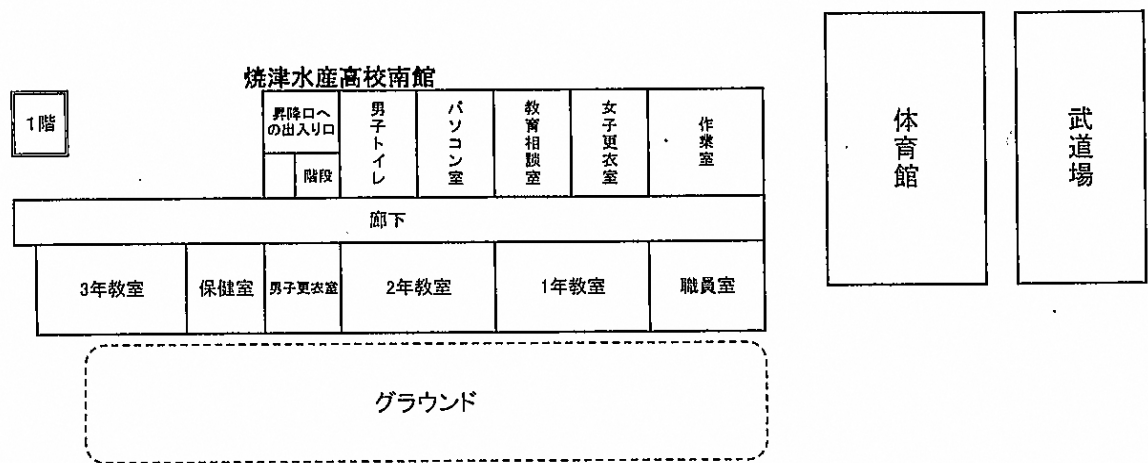
区 分		面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
			県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地		910.00			518.00		392.00	
内 訳	その他の敷地	910.00			518.00		392.00	焼津市長 個人
校 舎		建 582.75 延 3,655.49	582.75 3,655.49					焼津水産高校 使用承認
そ の 他 の 建 物		建 23.56 延 23.56	23.56 23.56					焼津水産高校 使用承認

2 配置・規模等

(1)校舎の配置図



焼津分校



(2) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区分		学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	本校	20,629.66 m ²	9,414.21 m ²	5,653.05 m ²
	焼津分校	(910.00) m ²	(3,655.49) m ²	m ²
県平均		19,266.88 m ²	6,361.36 m ²	5,302.07 m ²

□□□□□□

在 籍 生 徒 調

(令和7年7月31日現在)

学年	学部 区分		小学						中学					
			本校			訪問教育			本校			訪問教育		
			男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
1年	入学者		14	9	23	0	0	0	17	6	23	1	0	1
	増加 減少			0			0			0			0	
				1	1			0			0			0
	現在		14	8	22	0	0	0	17	6	23	1	0	1
2年	入学者		18	9	27	0	0	0	18	6	24	0	1	1
	増加 減少			0			0			0			0	
				0			0			0			0	
	2年時当初		18	9	27	0	0	0	18	6	24	0	1	1
	増加 減少			0			0			0			0	
				0			0			0			0	
現在		18	9	27	0	0	0	18	6	24	0	1	1	
3年	入学者		20	10	30	0	0	0	20	6	26	1		1
	増加 減少			0			0			0			0	
				0			0			0			0	
	2年時当初		20	10	30	0	0	0	20	6	26	1	0	1
	増加 減少	1		1			0			0			0	
		1		1			0			0			0	
	3年時当初		20	10	30	0	0	0	20	6	26	1	0	1
	増加 減少			0			0			0			0	
		3		3			0			0			0	
	現在		17	10	27	0	0	0	20	6	26	1	0	1
4年	入学者		17	8	25	0	0	0						
	増加 減少	2	2	4			0							
		2	1	3			0							
	2年時当初		17	9	26	0	0	0						
	増加 減少			0			0							
				2	2		0							
	3年時当初		17	7	24	0	0	0						
	増加 減少			0			0							
				0			0							
	4年時当初		17	7	24	0	0	0						
	増加 減少			0			0							
				0			0							
現在		17	7	24	0	0	0							
5年	入学者		14	7	21	0	0	0						
	増加 減少	1		1			0							
				0			0							
	2年時当初		15	7	22	0	0	0						
	増加 減少	1		1			0							
		3		3			0							
	3年時当初		13	7	20	0	0	0						
	増加 減少			0			0							
				0			0							
	4年時当初		13	7	20	0	0	0						
	増加 減少	1		1			0							
				0			0							
	5年時当初		14	7	21	0	0	0						
	増加 減少			0			0							
			0			0								
現在		14	7	21	0	0	0							
6年	入学者		11	7	18	0	0	0						
	増加 減少	1	1	2			0							
		1		1			0							
	2年時当初		11	8	19	0	0	0						
	増加 減少			0			0							
		1		1			0							
	3年時当初		10	8	18	0	0	0						
	増加 減少	1		1			0							
				0			0							
	4年時当初		11	8	19	0	0	0						
	増加 減少			0			0							
				0			0							
	5年時当初		11	8	19	0	0	0						
	増加 減少	1		1			0							
				0			0							
	6年時当初		12	8	20	0	0	0						
	増加 減少			0			0							
				0			0							
現在		12	8	20	0	0	0							
合計			92	49	141	0	0	0	55	18	73	2	1	

□□□□□□

在 籍 生 徒 調

(令和7年7月31日現在)

学年	学区	学部	高等部												合計		
			本校				訪問教育				分校						
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計			
1年	入学者	41	28	11	39		1	1	2	18	14	4	18	75	31	106	
	増加				0				0				0	0	0	0	
	減少				0				0				0	0	1	1	
	現在		28	11	39		1	1	2		14	4	18	75	30	105	
2年	入学者	39	14	16	30		0	0	0	18	9	3	12	59	35	94	
	増加				0				0				0	0	0	0	
	減少				0				0				0	0	0	0	
	2年時当初		14	16	30		0	0	0		9	3	12	59	35	94	
	増加		1		1				0				0	1	0	1	
	減少				0				0				0	0	0	0	
	現在		15	16	31		0	0	0		9	3	12	60	35	95	
3年	入学者	51	25	18	43		1	0	1	18	12	6	18	79	40	119	
	増加				0				0				0	0	0	0	
	減少		1		1				0				0	1	0	1	
	2年時当初		24	18	42		1	0	1		12	6	18	78	40	118	
	増加				0				0				0	1	0	1	
	減少				0				0				0	1	0	1	
	3年時当初		24	18	42		1	0	1		12	6	18	78	40	118	
	増加				0				0				0	0	0	0	
	減少				0				0				0	3	0	3	
	現在		24	18	42		1	0	1		12	6	18	75	40	115	
4年	入学者													17	8	25	
	増加													2	2	4	
	減少													2	1	3	
	2年時当初													17	9	26	
	増加													0	0	0	
	減少													0	2	2	
	3年時当初													17	7	24	
	増加													0	0	0	
	減少													0	0	0	
	4年時当初													17	7	24	
	増加													0	0	0	
減少													0	0	0		
5年	入学者													14	7	21	
	増加													1	0	1	
	減少													0	0	0	
	2年時当初													15	7	22	
	増加													1	0	1	
	減少													3	0	3	
	3年時当初													13	7	20	
	増加													0	0	0	
	減少													0	0	0	
	4年時当初													13	7	20	
	増加													1	0	1	
	減少													0	0	0	
6年	入学者													11	7	18	
	増加													1	1	2	
	減少													1	0	1	
	2年時当初													11	8	19	
	増加													0	0	0	
	減少													1	0	1	
	3年時当初													10	8	18	
	増加													1	0	1	
	減少													0	0	0	
	4年時当初													11	8	19	
	増加													0	0	0	
	減少													0	0	0	
合計	入学者	131	67	45	112	0	2	1	3	54	35	13	48	253	127	380	
	増加																
	減少																
	2年時当初																
	増加																
	減少																
	3年時当初																
	増加																
	減少																
	4年時当初																
	増加																
	減少																

□□□□□□

入学志願者及び入学者数調

区分		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
部別		高等部 (本校)	高等部 (分校)	高等部 (本校)	高等部 (分校)	高等部 (本校)	高等部 (分校)	高等部 (本校)	高等部 (分校)	高等部 (本校)	高等部 (分校)
生徒定員 (A)		57	18	51	18	51	18	39	18	41	18
募集者数 (B)		57	18	51	18	51	18	39	18	41	18
志願者数	男	36	17	31	17	26	17	14	9	29	15
	女	15	11	13	13	18	8	16	3	13	4
	計 (C)	51	28	44	30	44	25	30	12	42	19
受検者数	男	36	17	31	17	26	16	14	9	29	15
	女	15	11	13	13	18	8	16	3	13	4
	計 (D)	51	28	44	30	44	24	30	12	42	19
合格者数	男	36	10	31	9	26	12	14	9	29	14
	女	15	8	13	9	18	6	16	3	13	4
	計 (E)	51	18	44	18	44	18	30	12	42	18
志願倍率 (C)／(B)		0.89	1.56	0.86	1.67	0.86	1.39	0.77	0.67	1.02	1.06
受検倍率 (D)／(B)		0.89	1.56	0.86	1.67	0.86	1.33	0.77	0.67	1.02	1.06
入学者数	男	36	10	31	9	26	12	14	9	29	14
	女	15	8	13	9	18	6	16	3	12	4
	計 (F)	51	18	44	18	44	18	30	12	41	18
充足率 (F)／(A)		0.89	1.00	0.86	1.00	0.86	1.00	0.77	0.67	1.00	1.00

□□□□□□

卒業生の動向調

区 分		中学部	高等部（本校）		高等部（分校）		合 計
			本 科	専攻科	本 科	専攻科	
高等学校 （本科）	全日制						0
	定時制						0
	通信制						0
特別支援学校高等部		28					28
その他高等学校等							0
大学等	大学（学部）						0
	短期大学（本科）						0
	大学・短大の通信教育学部等						0
	その他大学等						0
特別支援学校高等部専攻科							0
専修学校（専門課程）					1		1
専修学校（一般課程）・各種学校							0
公共職業能力開発施設等			1		15		16
就 職			7		2		9
上 記 以 外 ※			35				35
不詳 ・ 死亡							0
計（卒業者総数）		28	43	0	18	0	89

（再掲）「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		中学部	高等部（本校）		高等部（分校）		合 計
			本 科	専攻科	本 科	専攻科	
児童福祉施設							0
障害者支援施設			32		2		34
	（うち就労系支援事業利用者）	（）	（18）	（）	（2）	（）	（20）
医療機関							0
計		0	32	0	2	0	34

□□□□□□

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (訪問教育児童生徒を除く) (令和7年7月31日現在) (単位:人)

市町名	藤枝市	焼津市	島田市	牧之原市	川根本町	静岡市	合計
生 本校(通学)	156	101	68	0	1	0	326
徒 分校	19	23	5	0	1	0	48
数 合計	175	124	73	0	2	0	374
構成比%	46.8	33.2	19.5	0.0	0.5	0.0	100%

(2) 通学方法 (訪問教育児童生徒を除く) (令和7年7月31日現在) (単位:人)

区分	スクールバス	交通機関	父母の送迎	自転車・徒歩	合計
生 本校(通学)	175	37	87	27	326
徒 分校		16	0	32	48
数 合計	175	53	87	59	374
構成比%	46.8	14.2	23.2	15.8	100%

(3) 訪問教育の状況 (令和7年7月31日現在) (単位:人)

訪問教員等		市町	藤枝市	焼津市	計
小・中学部	教諭	1	小学部	0	0
	講師	0	中学部	1	2
高等部	教諭	2	高等部	0	3
	講師	0			
計		3	計	4	2
					6

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

区分		高等部							
		本校				分校			
		運動部	文化部	未加入者	計	運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		3	2		5	2	2		4
男子	1年	13	2	13	28	9	5	0	14
	2年	4	2	9	15	4	5	0	9
	3年	6	4	14	24	7	5	0	12
	計(A)	23	8	36	67	20	15	0	35
	構成比	34.3	11.9	53.8	100	57.1	42.9	0.0	100
女子	1年	3	4	4	11	0	4	0	4
	2年	9	2	5	16	0	3	0	3
	3年	3	4	11	18	3	3	0	6
	計(B)	15	10	20	45	3	10	0	13
	構成比	33.3	22.2	44.5	100	23.1	76.9	0.0	100
合計	(A+B)	38	18	56	112	23	25	0	48
	構成比	33.9	16.1	50.0	100	47.9	52.1	0.0	100

3 障害別児童生徒数

(令和7年7月31日現在)

(単位：人)

区 分			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計	学 級 数
小 学 部	単一障害		3	4	4	6	11	10	38	8
	重複障害		17	17	18	12	6	8	78	27
	肢体重複	本 校	2	6	5	6	4	2	25	10
		訪 問	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計		22	27	27	24	21	20	141	45
中 学 部	単一障害		9	13	20				42	9
	重複障害		13	9	6				28	9
	肢体重複	本 校	1	2	0				3	2
		訪 問	1	1	1				3	1
	合 計		24	25	27				76	21
高 等 部	単一障害	本 校	33	21	32				86	11
		分 校	18	12	18				48	6
	重複障害	本 校	3	3	3				9	3
	肢体重複	本 校	3	7	7				17	7
		訪 問	2	0	1				3	1
	合 計		59	43	61				163	28

4 起因疾患別児童生徒数

(令和7年7月31日現在)

(単位：人)

区	分	自 閉 症	ダウン症	その他の染色体異常	脳マ	性ヒ	その他の脳原性障害	脳後遺症	炎症等症	水頭症	筋ジストロフィー	その他	計
小学部		57	16	4	3		7	0		1	1	52	141
中学部		36	11	0	3		1	0		0	0	22	73
高等部	本 校	24	19	6	4		10	0		1	1	47	112
	分 校	10	0	0	0		0	0		0	0	38	48
訪 問		0	0	0	2		3	0		0	1	0	6
計		127	46	10	12		21	0		2	3	159	380

その他の染色体異常には、ブラダウィリー症候群、ソトス症候群、コルネリア・デ・ラング症候群、アンジェルアン症候群などを含む。

てんかんは併発する症状として疾患に含めない。

難治性てんかんについては、その他に含めた。(ウエスト症候群、ミオクローヌス症候群、點頭てんかん、レノックスガストー症候群など)

その他には、診断のないもの、発達障害や代謝異常を含む。

□□□□□□

特別支援学校における生産物売払調

令和 7 年度

【本校】

(令和 7 年 7 月 31 日現在)

	主な生産品目			
7 年 度	<手芸品・工作物> コースター、ペン立て、小物入れⅡ、ティッシュボックスケース、エコボックス、キーホルダー、マウスパッド、トートバッグ、小銭入れ、マグネット、うちわ、油すいとろボックス、ペーパーログ、メッセージカード、ペーパーバッグ、A4ボックス、アニマル・リボンペン立て、クラフトリース <農作物・園芸品> ウコン粉末、いりごま、一味唐辛子（瓶）、一味唐辛子粉末、モロヘイヤ粉末、バジル粉末 <陶芸品> 小皿、角小鉢、中皿、大皿			
	① 売払金額	73,500 円	②前年度との差額	△395,000 円
6 年 度	<手芸品・工作物> コースター、ロングウッドケース、ペン立て、小物入れⅡ、ティッシュボックスケース、エコボックス、カッティングボード大、マスクケース、調味料ボックス、キーホルダー、マウスパッド、巾着袋、トートバッグ、小銭入れ、ポーチ、マグネット、うちわ、油すいとろボックス、ペーパーログ、メッセージカード、ペーパーバッグ、A4ボックス、アニマル・リボンペン立て、かごバッグ、クラフトリース、ランプシェード <農作物・園芸品> ウコン粉末、生姜粉末、切干大根、いりごま、大根、こかぶ、一味唐辛子（瓶）、一味唐辛子粉末、モロヘイヤ粉末、バジル粉末、大葉粉末、さつまいも、花の苗 <陶芸品> 小皿、角小鉢、湯のみ、カップ、器・角皿、箸置き、トーストスチーマー、マグネット			
	① 売払金額	468,500 円	② 前年度との差額	△71,050 円

5 年 度	＜手芸品・工作物＞			
	スマートフォンスタンド、キーホルダー、コードクリップ、ヘアゴム、ポーチ、敷物、小銭入れ、コースター、ティッシュケース、バッグ、メッセージカード、ポチ袋、月カレンダー、日めくりカレンダー、パルプ玉油吸い取り袋、ロングウッドケース、ペン立て、小物入れⅡ、ティッシュボックスケース、エコボックス、カッティングボード、マスクケース、調味料ボックス、巾着袋、トートバッグ、マグネット、壁飾り、名刺、ストラップ、ペーパーログ、メッセージカード、ペーパーバッグ、A4ボックス、アニマルペン立て、クラフトリース			
	＜農作物・園芸品＞			
	パンジー苗、園芸用土、大根、里芋、海老芋、さつまいも、しょうが、こかぶ、ウコン粉末、生姜粉、切干大根、いりごま、大葉、一味唐辛子、モロヘイヤ、バジル			
	＜陶芸品＞			
	小皿、湯のみ、カップ、器・角皿、箸置き、トーストスチーマー、マグネット			
	① 売払金額	539,550 円	②前年度との差額	25,710 円

＊ 過去3年分を記載すること。

□□□□□□

特別支援学校における生産物売払調

令和 7 年度

【分校】

(令和 7 年 7 月 31 日現在)

	主な生産品目			
7 年 度	<手芸品・工作物> なし <農作物・園芸品> ミニトマト、にんにく、オクラ			
	① 売払金額	6,750 円	②前年度との差額	△237,000 円
6 年 度	<手芸品・工作物> スマホスタンド、キーホルダー、まな板、コースター、鍋敷き、ウッドスピーカー、ペンスタンド、トートバッグ、エコバッグ、ファスナーポーチ、ランチトートバッグ <農作物・園芸品> さつまいも、ショウガ、トマト、カブ、サトイモ 237、にんにく、玉ねぎ、花の苗、ソラマメ			
	① 売払金額	243,750 円	② 前年度との差額	10,950 円
5 年 度	<手芸品・工作物> まな板中、鍋敷き、ウッドスピーカー、トートバッグ小、縫製飾り小、縫製飾り大、ポーチ、ブックカバー小、きんちやく袋中 <農作物・園芸品> さつまいも、焼き芋、オクラ、大根、じゃがいも、ミニトマト、ニンジン、レタス、スナップエンドウ、カブ、にんにく、たまねぎ、ショウガ、なす、ラッカセイ、ハクサイ			
	① 売払金額	232,800 円	②前年度との差額	109,650 円

* 過去 3 年分を記載すること。

預 金 調

(令和7年7月31日現在)

金 融 機 関 名	預金種類	口座番号	口 座 名 義 人	残高 円	摘 要
島田掛川信用金庫 藤枝南支店	無利息型 普通預金	0163094	静岡県立藤枝特別支援学校 資金前渡者 鈴木 ゆかり	0	職員給与用
静岡銀行 藤枝駅支店	無利息型 普通預金	0835986	静岡県立藤枝特別支援学校 奨励費代理受領者 鈴木 ゆかり	0	就学奨励費用
島田掛川信用金庫 藤枝南支店	無利息型 普通預金	0104270	自振口 静岡県立藤枝特別支援学校 資金前渡者 鈴木 ゆかり	0	公共料金等 口座振替用
残 高 合 計				0	

□□□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和7年7月31日現在)

【本校】

(単位:枚、円)

区分	種 類	令和6年度						令和7年度								摘 要
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出		差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
郵券	1円券	3	3	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	書類等 送用
	5円券	0	0	3	30	3	30	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10円券	16	160	0	0	14	140	2	20	0	0	0	0	2	20	
	26円券	0	0	31	2,604	31	2,604	0	0	0	0	0	0	0	0	
	84円券	59	4,956	60	5,040	119	9,996	0	0	0	0	0	0	0	0	
	110円券	0	0	100	8,400	81	6,804	19	1,596	130	10,920	100	8,400	49	4,116	
	120円券	2	240	0	0	0	0	2	240	0	0	0	0	2	240	
	50円 葉書	1	50	0	0	0	0	1	50	0	0	0	0	1	50	
	計		5,409		16,074		19,577		1,906		10,920		8,400		4,426	

【分校】

区分	種 類	令和6年度						令和7年度								摘 要
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出		差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
郵券	1円券	0	0	4	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	書類等 送用
	10円券	76	760	150	1,500	182	1,820	44	440	200	2,000	19	190	225	2,250	
	26円券	0	0	220	5,720	160	4,160	60	1,560	1	26	56	1,456	5	130	
	63円券	4	252	0	0	4	252	0	0	0	0	0	0	0	0	
	84円券	72	6,048	300	25,200	311	26,124	61	5,124	0	0	56	4,704	5	420	
	110円券	0	0	0	0	0	0	0	0	300	33,000	25	2,750	275	30,250	
	120円券	90	10,800	50	6,000	60	7,200	80	9,600	0	0	11	1,320	69	8,280	
	140円券	0	0	0	0	0	0	0	0	50	7,000	0	0	50	7,000	
	レターバックライト	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2,150	1	430	4	1,720	
	計		17,860		38,424		39,560		16,724		44,176		10,850		50,050	

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、 5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		116,600	0
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	40,098,746	80,784,088	0
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	15,917,590	15,901,033	0
計					56,016,336	96,801,721	0
(14) 工 事 請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	9,185,000	3,553,000	0
計					9,185,000	3,553,000	0
(16) 公有財産 購入費					0	0	0
計					0	0	0
(17) 備 品 購入費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		569,800	0
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	1,157,200	1,115,400	0
							0
計					1,157,200	1,685,200	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	49,100	49,100	0
							0
計					49,100	49,100	0
(21) 補償、 補填 及び 賠償金					0	0	0
計					0	0	0

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年7月31日現在)

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)	
						うち、6年 度からの繰 越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	20,161,383	0
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	3,968,026	
計					24,129,409	0
(14) 工 事 請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産 購入費					0	0
計					0	0
(17) 備 品 購入費	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	970,200	0
計					970,200	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	47,800	0
計					47,800	0
(21) 補償、補 填及び賠 償金					0	0
計					0	0

□□□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の 内 容	摘 要											
				当初額	変 更 増減額	計																	
1	(事務関係)	大新東(株)	円 17,309,128	円 15,483,600	円	円 15,483,600	一般	5.4.1 } 8.3.31	6.5.31	円 (5,161,200) 430,100	スクールバス の運行管理 業務 1台(毎日)	5長期											
				5.161,200		5.161,200			6.6.28	430,100													
				5.161,200		5.161,200			6.7.30	430,100													
				5.161,200		5.161,200			6.8.30	430,100													
									6.9.30	430,100													
									6.10.31	430,100													
									6.11.29	430,100													
									6.12.26	430,100													
									7.1.31	430,100													
									7.2.28	430,100													
									7.3.31	430,100													
									7.4.30	430,100													
									(小計5,161,200)														
				2		通学バス 輸送業務			静鉄ジョイ ステップバ ス(株)旅行 営業課	222,211,000			220,275,550		220,275,550	一般	6.4.1 } 9.3.31	6.5.31	(73,425,132) 6,118,761	児童・生徒の 送迎等 4台(毎日)	6長期		
													73,425,132		73,425,132			6.6.28	6,118,761				
73,425,132	73,425,132	6.7.30	6,118,761																				
73,425,286	73,425,286	6.8.30	6,118,761																				
		6.9.30	6,118,761																				
		6.10.31	6,118,761																				
		6.11.29	6,118,761																				
		6.12.26	6,118,761																				
		7.1.31	6,118,761																				
		7.2.28	6,118,761																				
		7.3.31	6,118,761																				
		7.4.30	6,118,761																				
		(小計73,425,132)																					
3	エレベーター 保守点検 業務	フジテック (株)静岡支 店	1,412,400		1,412,400			1,412,400			随契	6.4.1 } 7.3.31	6.5.31		117,700			エレベーター の保守点検 (3台)	随契2号 (不適)				
													6.6.28		117,700								
				6.7.30		117,700																	
				6.8.30		117,700																	
				6.9.30		117,700																	
				6.10.31		117,700																	
				6.11.29		117,700																	
				6.12.26		117,700																	
				7.1.31		117,700																	
				7.2.28		117,700																	
				7.3.31		117,700																	
				7.4.30		117,700																	
						(小計1,412,400)																	
				4		給食業務			富士産業 (株)	51,943,320			46,332,000		46,332,000	一般	5.8.3 } 8.7.31			6.5.31	(15,444,000) 1,287,000	主食・副食の 調理、食器等 の洗浄・保管 及びこれらに 付随する業務 (毎日)	5長期
													10,296,000		10,296,000					6.6.28	1,287,000		
15,444,000	15,444,000	6.7.30	1,287,000																				
15,444,000	15,444,000	6.8.30	1,287,000																				
5,148,000	5,148,000	6.9.30	1,287,000																				
		6.10.31	1,287,000																				
		6.11.29	1,287,000																				
		6.12.26	1,287,000																				
		7.1.31	1,287,000																				
		7.2.28	1,287,000																				
		7.3.31	1,287,000																				
		7.4.30	1,287,000																				
		(小計15,444,000)																					

5	一般廃棄物 収集運搬処 分業務	㈱静岡環 境保全セ ンター	可燃・不燃物 運搬料 2,530円／回 処分料 14.6円／kg	可燃・不燃物 運搬料 1,980円／回 処分料 14.6円／kg		可燃・不燃物 運搬料 1,980円／回 処分料 14.6円／kg	随契	6.4.10 } 7.3.24	6.5.31 6.6.28 6.7.30 6.8.30 6.9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.30	28,957 41,617 40,784 32,675 2,199 28,461 45,241 38,177 28,548 35,583 34,984 22,807 (小計380,033)	一般廃棄物 の収集運搬 処分業務	随契1号 (少額) 単価契約
6	産業廃棄物 収集・運搬及 び処分業務	㈱アドバン ス中部 サービス	99,000/回	99,000/回		99,000/回	随契	6.5.1 } 7.3.31	6.6.28 6.9.30 7.3.31	99,000 99,000 99,000 (小計297,000)	産業廃棄物収 集運搬処分 (混合廃棄物)	随契1号 (少額) 単価契約
7	医療的ケア 児就学支援 事業訪問看 護業務	(福)藤枝市 社会福祉 協議会	医療的ケアに 要する費用 5,500円/時間 交通費 550円/回	医療的ケアに 要する費用 5,500円/時間 交通費 550円/回		医療的ケアに 要する費用 5,500円/時間 交通費 550円/回	随契	6.5.1 } 7.3.31	6.6.28 6.7.30 6.8.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.30	11,550 23,100 11,550 23,100 23,100 23,100 11,550 11,550 23,100 11,550 (小計173,250)	訪問看護師 による医療的 ケアの実施	随契1号 (少額) 単価契約
8	自家用電気 工作物保安 管理業務	中央電気 保安管理 技術者協 会静岡事 業所	421,025	211,200		211,200	随契	6.4.1 } 7.3.31	6.5.31 6.7.30 6.9.30 6.11.29 7.1.31 7.4.30	36,300 36,300 29,700 36,300 36,300 36,300 (小計211,200)	自家用電気 工作物保守 点検 月次点検年5 年次点検年1	随契1号 (少額)
9	グリストラップ 汚泥・廃油収 集運搬及び 処分業務	静和エン バイロメント (株)	77,000	77,000		77,000	随契	6.7.23 } 7.3.31	6.8.30 7.4.25	38,500 38,500 (小計77,000)	グリストラップ 汚泥・廃油収 集運搬及び処 分2回	随契1号 (少額)
10	有害物質含 有調査業務	㈱静岡環 境検査セン ター	121,000	116,600		116,600	随契	6.6.17 } 6.8.30	6.8.30	116,600	有害物質含有 調査	随契1号 (少額)
11	産業廃棄物 収集・運搬及 び処分業務	㈱アドバン ス中部 サービス	30,800	30,800		30,800	随契	7.2.10 } 7.2.27	7.3.31	30,800	産業廃棄物 (パソコン)収 集運搬処分	随契1号 (少額)
12	産業廃棄物 収集・運搬及 び処分業務	㈱静岡資 源	73,106	73,106		73,106	随契	7.2.4 } 7.3.14	7.3.31	73,106	産業廃棄物 (廃乾電池・蛍 光管)収集運 搬処分	随契1号 (少額)
	事務関係 計	12 件	—	—						96,801,721		
	合 計	12 件	—	—						96,801,721		

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の 内 容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
参考 1	警備業務	セコム(株)		7,392,000		7,392,000		1.10.1 ～ 6.9.30			警報機器により 伝達される異常 の有無の監視 及び異常に対 する処置	藤枝東 高等学校
				10,692,000		10,692,000		6.10.1 ～ 11.9.30				
参考 2	消防用設備 等保守点検 業務	消防設備 保全(株)		7,590,000	678,647	8,268,647		6.4.1 ～ 7.3.31			自動火災報知 器、非常放送設 備、避難器具 等の保守点検 年2回	藤枝北 高等学校
参考 3	浄化槽保守 点検業務	ニッケン消 毒(株)		520,850		520,850		6.4.1 ～ 7.3.31			浄化槽の機能 保全・維持管理	清流館 高等学校
参考 4	プール浄化 装置保守点 検業務	大学産業 (株)		297,000		297,000		6.4.4 ～ 6.12.20			プール浄化装 置の点検調整・ 維持管理	焼津中央 高等学校
参考 5	可燃物収集 運搬処分業 務	㈱静岡環 境保全セ ンター		収集・運搬料 1,980円／回 処分料 14.63円／kg (税込)		収集・運搬料 1,980円／回 処分料 14.63円／kg (税込)		6.4.5 ～ 7.3.31			可燃物の収集・ 運搬、処分	清流館 高等学校
参考 6	可燃物収集 運搬処分業 務 (焼津分校)	環境のミカ タ(株)		収集・運搬料 8,140円／回 処分料 15.4円／kg (税込)		収集・運搬料 8,140円／回 処分料 15.4円／kg (税込)		6.4.12 ～ 7.7.31			可燃物の収集・ 運搬、処分	藤枝西 高等学校
参考 7	焼津藤枝地 区県立学校 定期点検業 務	青島彰一 級建築士 事務所		2,090,000		2,090,000		6.10.1 ～ 7.1.31			焼津藤枝地区 県立学校建築 基準法第12条 に基づく定期点 検業務	藤枝東 高等学校

□□□□□□

委託料に関する調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の 内 容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
1	(事務関係) スクールバス 運行管理 業務	大新東(株)	円 17,309,128	円 15,483,600 5,161,200 5,161,200 5,161,200	円 円 円 円	円 15,483,600 5,161,200 5,161,200 5,161,200	一般	5.4.1 7.5.30 7.6.30 8.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31	円 (5,161,200) 430,100 430,100 430,100 (小計1,290,300)	スクールバス の運行管理業 務 1台(毎 日)	5長期
2	通学バス 輸送業務	静鉄ジョイ ステップバス(株)旅行 営業課	222,211,000	220,275,550 73,425,132 73,425,132 73,425,286		220,275,550 73,425,132 73,425,132 73,425,286	一般	6.4.1 7.5.30 7.6.30 9.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31	(73,425,132) 6,118,761 6,118,761 6,118,761 (小計18,356,283)	児童・生徒の 送迎等 4台(毎日)	6長期
3	エレベーター 保守点検 業務	フジテック (株)静岡支 店	1,465,200	1,465,200		1,465,200	随契	7.4.1 7.5.30 7.6.30 8.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31	122,100 122,100 122,100 (小計366,300)	エレベーター の保守点検 (3台)	随契2号 (不適)
4	給食業務	富士産業 (株)	51,943,320	46,332,000 10,296,000 15,444,000 15,444,000 5,148,000		46,332,000 10,296,000 15,444,000 15,444,000 5,148,000	一般	5.8.3 7.5.30 7.6.30 8.7.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31	(15,444,000) 1,287,000 1,287,000 1,287,000 (小計3,861,000)	主食・副食の 調理、食器等 の洗浄・保管 及びこれらに 付随する業務 (毎日)	5長期
5	自家用電気 工作物保安 管理業務	中央電気 保安管理 技術者協 会静岡事 業所	211,200	211,200		211,200	随契	7.4.1 7.5.30 7.6.30 8.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31	16,500 16,500 16,500 (小計49,500)	自家用電気 工作物保守 点検 月次点検年11 年次点検年1	随契1号 (少額)
6	一般廃棄物 収集運搬処 分業務	(株)静岡環 境保全セ ンター	可燃・不燃物 運搬料 2,530円/回 処分料 14.6円/kg	可燃・不燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 14.6円/kg		可燃・不燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 14.6円/kg	随契	7.4.1 7.5.30 7.6.30 8.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31	28,285 38,541 40,200 (小計107,026)	一般廃棄物の 収集運搬処 分業務	随契1号 (少額) 単価契約
7	産業廃棄物 収集・運搬及 び処分業務	(株)アドバ ンス中部 サービス	99,000円/回	99,000円/回		99,000円/回	随契	7.5.1 7.7.31 8.3.31	7.7.31	99,000 (小計99,000)	産業廃棄物収 集運搬処分 (混合廃棄物)	随契1号 (少額) 単価契約
	事務関係 計	7 件	—	—						24,129,409		
	合 計	7 件	—	—						24,129,409		

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の 内 容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
参考 1	警備業務	セコム(株)		10,692,000		10,692,000		6.10.1 ～ 11.9.30			警報機器により 伝達される異常 の有無の監視 及び異常に対 する処置	藤枝東 高等学校
参考 2	消防用設備 等保守点検 業務	消防設備 保全(株)		8,030,000		8,030,000		7.4.1 ～ 8.3.31			自動火災報知 器、非常放送設 備、避難器具 等の保守点検 年2回	藤枝北 高等学校
参考 3	浄化槽保守 点検業務	ニッケン消 毒(株)		662,200		662,200		7.4.1 ～ 8.3.31			浄化槽の機能 保全・維持管理	清流館 高等学校
参考 4	プール浄化 装置保守点 検業務	大学産業 (株)		297,000		297,000		7.4.4 ～ 7.12.19			プール浄化装 置の点検調整・ 維持管理	焼津中央 高等学校
参考 5	可燃物収集 運搬処分業 務	(株)静岡環 境保全セ ンター		収集・運搬料 1,980円／回 処分料 14.63円／kg (税込)		収集・運搬料 1,980円／回 処分料 14.63円／kg (税込)		7.4.4 ～ 8.3.31			可燃物の収集・ 運搬、処分	清流館 高等学校
参考 6	可燃物収集 運搬処分業 務 (焼津分校)	環境のミカ タ(株)		収集・運搬料 9,020円／回 処分料 15.4円／kg (税込)		収集・運搬料 9,020円／回 処分料 15.4円／kg (税込)		7.4.11 ～ 8.3.31			可燃物の収集・ 運搬、処分	藤枝西 高等学校

□□□□□□

負 担 金 支 出 調

(令和6年度)

整理 番号	負 担 金 名	交 付 先	負担根拠	事 業 内 容	負担金額	支出年月日
1	藤枝地区安全運転管理協会 会費	藤枝地区安全運 転管理協会	会則	交通安全の啓蒙	21,600	6.6.19
2	全国特別支援学校知的障害 教育校長会会費	全国特別支援学 校知的障害教育 校長会	会則	特別支援教育ならびに 知的障害教育の振興	15,000	6.7.22
3	全国特別支援学校知的障害 教育校長研究大会参加費	全国特別支援学 校知的障害教育 校長会	規約	特別支援教育ならびに 知的障害教育の振興	3,000	6.7.24
4	東海地区特別支援学校知的 障害教育校長会会費	東海地区特別支 援学校知的障害 教育校長会	規約	教育の充実改善の推 進、調査・研究	5,000	6. 7.26
5	安全運転管理者講習受講手 数料	(一社)静岡県安 全運転管理協会	道路交 通法第112条 第1項第12 号	道路交通法第108条の2 第1項第1号に規定する 安全運転管理者等講習	4,500	6. 7.30
	計	5件			49,100	

□□□□□□

負 担 金 支 出 調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	負 担 金 名	交 付 先	負担根拠	事 業 内 容	負担金額	支出年月日
1	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会受講料	(公財)日本産業 廃棄物処理振興 センター	廃棄物処理 法施行規則 第8条の17 第2号	廃棄物処理法第12条の 2第8項及び第9項に規 定する特別管理産業廃 棄物管理責任者に必要 な資格を有するための講 習	13,200	7.5.7
2	藤枝地区安全運転管理協会 会費	藤枝地区安全運 転管理協会	会則	交通安全の啓蒙	25,600	7.6.23
3	全国特別支援学校知的障害 教育校長研究大会参加費	全国特別支援学 校知的障害教育 校長会	規約	特別支援教育ならびに 知的障害教育の振興	3,000	7.7.10
4	東海地区学校図書館研究大 会(静岡大会)	東海地区学校図 書館研究大会(静 岡大会)	規約	学校図書館の充実のた めの司書教諭、学校司 書、学校図書館に関わる 教職員や研究者などによ る研究、実践発表、講義	6,000	7. 7.18
	計	4件			47,800	

□□□□□□

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	藤枝特別支援学校 小学部棟2階防火 シャッター改修工事	藤枝市前島地内	□ 1,760,000	□ 1,650,000	□
2	教育管理費	藤枝特別支援学校 プール用井水加圧 ポンプ更新工事	藤枝市前島地内	1,914,000	1,903,000	
		計	2件	3,674,000	3,553,000	

(参考)

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	藤枝特別支援学校 空調設備更新工事	藤枝市前島地内	□ 40,073,000	□ 38,500,000	□ 66,000
2	教育管理費	藤枝特別支援学校 空調設備設置工事	藤枝市前島地内	11,055,000	10,301,000	-381,000

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
	該当なし			□	□	□

事 調

(令和6年度)

額	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
円 1,650,000	随契	消防設備保全 (株)	6.12.23 7.3.24	円 1,650,000	防火シャッター改 修工事一式	—	(令達年月日) 6.12.10 (支払年月日) 7.4.14 随契1号(少額)
1,903,000	随契	(株)エクノスワタ ナベ	6.12.25 7.3.24	1,903,000	プール用井水加 圧ポンプ更新工 事一式	—	(令達年月日) 6.12.13 (支払年月日) 7.4.11 随契1号(少額)
3,553,000				3,553,000			

額	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
円 38,566,000	一般	(株)エクノスワタ ナベ	6.7.17 6.11.8	円 38,566,000	職員室 12基 食堂 8基 空調機更新	済	本庁経理 教育部 教育施設課
9,920,000	一般	(株)太田	6.11.12 7.3.14	9,920,000	中学部棟 3基 高等部棟 1基 空調機新設	済	本庁経理 教育部 教育施設課

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

額	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
円				円			

□□□□□□

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は 面 積	台帳価格	数量又は 面 積	台帳価格	数量又は 面積	台帳価格	数量又は 面 積	台帳価格	
行政財産		千円 1,972,535		千円		千円		千円 1,955,096	
土 地	㎡ 19,781.66	1,102,121					㎡ 19,781.66	1,102,121	
立木竹	本 20	136					本 20	136	
建 物	㎡ 5,083.77	759,038				50,555	㎡ 5,083.77	708,483	
	10,127.69						10,127.69		
工作物	個 93	111,240	5	44,531	2	11,415	個 96	144,356	
公有財産に準ずるもの		444						444	
電話加入権	8	444					8	444	

様式第22号

公 有 財 産 調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

区 分	令和7年3月31日現在		増		減		令和7年7月31日現在		摘要
	数量又は 面 積	台帳価格	数量又は 面 積	台帳価格	数量又は 面積	台帳価格	数量又は 面 積	台帳価格	
行政財産		千円 1,955,096		千円		千円		千円 1,955,090	
土 地	㎡ 19,781.66	1,102,121					㎡ 19,781.66	1,102,121	
立木竹	本 20	136			1	6	本 19	130	
建 物	㎡ 5,083.77	708,483					㎡ 5,083.77	708,483	
	10,127.69						10,127.69		
工作物	個 96	144,356					個 96	144,356	
公有財産に準ずるもの		444						444	
電話加入権	8	444					8	444	

□□□□□□

借 地 借 家 等 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所 在 地	地 目		数量 又は 面積	借 料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	敷地	藤枝市 忠兵衛 字谷川端 615-2地先	ウスズミ	校舎 敷地	m ² 89.00		無料	H30. 4. 1 ～ R10. 3. 31	国土交通省 (静岡県知事)	緊急車両用道路
2	土地	敷地	焼津市 東小川 1-1185-3	宅地	その他 敷地	m ² 518.00		無料	R7.4.1 ～ R8.3.31	焼津市長	焼津分校 農園
3	土地	敷地	焼津市 西小川 3-11-3	宅地	その他 敷地	m ² 392.00		無料	R7.4.1 ～ R8.3.31	個人	焼津分校 農園
4	土地	敷地	藤枝市 大洲 1-6-6	田	その他 敷地	m ² 759.00		無料	R7.4.1 ～ R8.3.31	個人	高等部 農園
	土地 計					m ² 1,758.00		0			
5	建物	事務 所建	焼津市 焼津5-5-2	鉄筋コンクリート 4階建		m ² 582.75 3,655.49		無料	R7.4.1 ～ R10.3.31	焼津水産 高校	焼津分校 教 室
6	建物	雑屋建	焼津市 焼津5-5-2	軽量鉄骨造		m ² 23.56 23.56					焼津分校 自転車置場
	建物 計					m ² 606.31 3,679.05		0			
7	工作物	通風装置	焼津市 焼津5-5-2	分校職員室エアコン		台 2.00		無料	R7.4.1 ～ R10.3.31	焼津水産 高校	焼津分校 職員室 環境整備
8	工作物	通風装置	焼津市 焼津5-5-2	分校保健室エアコン		台 1.00					焼津分校 保健室 環境整備
9	工作物	通風装置	焼津市 焼津5-5-2	分校パソコン室エアコン		台 1.00					焼津分校 パソコン室 環境整備
10	工作物	通風装置	焼津市 焼津5-5-2	分校普通教室エアコン		台 6.00					焼津分校 普通教室 環境整備
13	工作物	通風装置	焼津市 焼津5-5-2	分校教育相談室エ ア コン		台 1.00					焼津分校 教育相談室 環境整備
	工作物 計					11.00		0			
計								0			

□□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和6年度)
(令和6年7月31日現在)

区分	事業名又は 契約名	内容	契約額	(契約額の年度別内訳)						
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
長期継続契約	給食調理業務	給食調理 36月 (契約日) 令和5年8月3日	46,332,000				10,296,000	15,444,000	15,444,000	5,148,000
長期継続契約	通学バス 輸送業務	通学バス輸送 36月 (契約日) 令和6年4月1日	220,275,550					73,425,132	73,425,132	73,425,286
長期継続契約	スクールバス運 行管理業務	スクールバス運行管理 36月 (契約日) 令和5年4月1日	15,483,600				5,161,200	5,161,200	5,161,200	

□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量 又は 面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	敷地	藤枝市前島 2 2 8 1 - 1	学校 敷地	学校 敷地	m ² 2.40	円	円 免除	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	藤枝市長	防災行政無線局 (子局)
2	土地	敷地	藤枝市前島 2 2 8 1 - 1	学校 敷地	学校 敷地	電柱 2 本 支線 1 条	1,500	4,500	5. 4. 1 ～ 8. 3. 31	中部電力パワーグリッド㈱ 静岡支社藤枝営業所 配電建設グループ長	電力供給用 電柱等
3	工作物	門	藤枝市前島 2 2 8 1 - 1	鉄筋コンクリート タイル張り鋼鉄門扉		m ² 0.27		免除	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	藤枝市長	海拔等表示用 看板の設置
4	建物	事務所建	藤枝市前島 2 2 8 1 - 1	重量鉄骨造 1 階建		m ² 7.20		免除	7. 4. 1 ～ 10. 3. 31	藤枝市長	福祉避難所用 簡易間仕切り 段ボール置置場
合 計								4,500			

□□□□□□

主 要 備 品 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	01-13	調理器具	真空冷却機 三浦 CMJ-40QE	年間190日 給食業務用	令和3年8月	円 4,455,000
2	01-13	調理器具	スチームコンベクションオープン コメットカトリ CSWH-GW201	年間190日 給食業務用	令和2年8月	3,179,000
3	01-13	食品食器洗浄機	食器洗浄機 日本洗浄機 SD-340GL	年間190日 給食業務用	平成23年2月	2,341,500
4	01-13	冷温水器	温水ボイラー アイチ ASTG-501	年2日 生活訓練用	平成12年3月	1,575,000
5	06-09	木工用機械	パネルソーシックス SZIII	週3日(年間120日) 高等部の木工実習用	平成7年3月	1,426,550
6	01-13	食品食器洗浄機	電気式食缶消毒保管機 中西 MCW-60A	年間190日 給食業務用	平成12年3月	1,417,500
7	01-13	食品食器洗浄機	電気式食器消毒保管機 中西 MCW-40A	年間190日 給食業務用	平成12年3月	1,302,000
8	06-09	木工用機械	自動カンナ盤 飯田工業 SX-433	週3日(年間120日) 高等部の木工実習用	平成元年3月	1,285,000
9	01-14	冷暖房器具	空冷ヒートポンプ式パ ッケージエアコン PCZ-ERP80KH	年間100日程度 知的学級用	平成27年12月	1,242,000
10	10-08	その他の芸術用器具	陶芸用電気窯 AC・D-15	年間20日 高等部の陶芸実習用	平成28年3月	1,231,200
11	01-14	冷暖房器具	空冷ヒートポンプ式パ ッケージエアコン PCZ-ERP80KF	年間100日程度 知的学級用	平成27年1月	1,188,000
12	01-13	食品保存庫	冷温庫 中西 ROK-20	年間190日 給食業務用	平成12年3月	1,155,000
13	10-06	教育調理器具	調理台 W2625×D600×H800	週2日(年間80日) 家庭科調理授業用	平成12年3月	1,134,000
14	10-06	教育調理器具	調理台 W2625×D600×H800	週2日(年間80日) 家庭科調理授業用	平成12年3月	1,134,000
15	01-14	冷暖房器具	エアコンディショナー 天吊り型 PCH-P80GG	年間100日程度 肢体学級用	平成14年3月	945,000
16	06-99	その他の諸機器	粘土再生機(土鍊機) ワンダー20	年間20日 高等部の陶芸実習用	令和元年12月	867,900
17	01-13	食品保存庫	リーチインショーケース ホシザキ RS-120BT	年間190日 給食業務用	令和7年5月	836,000
18	01-14	冷暖房器具	空冷ヒートポンプ式パ ッケージエアコン PCZ-RP80SKB	年間100日程度 知的学級用	平成23年6月	798,000
19	01-13	その他の厨房器具	テーブル型消毒保管機 MCTK-5-eT	年間190日 給食業務用	平成24年12月	795,900
20	06-09	木工用機械	小型横切盤 永和工業所 AS-6	週3日(年間120日) 高等部の木工実習用	平成11年7月	787,500

職 員 調

(本校)

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校 長	鈴木 ゆかり		□□□	0年4月	□□□
2	副校長	松本 知栄子		□□□	0年4月	□□□
3	教 頭	小林 雅樹		□□□	1年4月	□□□
4	事務長	村松 康代		□□□	0年4月	□□□
5	教 諭	小川原 孝	高等部 知的	□□□	6年4月	□□□
6	教 諭	東城 暢子	高等部 知的	□□□	4年4月	□□□
7	教 諭	岡 昌宏	高等部 肢体	□□□	2年4月	□□□
8	教 諭	稲葉 敏光		□□□	0年4月	□□□
9	教 諭	浅井 裕代	小学部 知的	□□□	0年4月	□□□
10	教 諭	外村 朱	高等部 知的	□□□	2年4月	□□□
11	教 諭	池谷 尚美	中学部 知的	□□□	2年4月	□□□
12	教 諭	杉浦 加津代	高等部 知的	□□□	0年4月	□□□
13	教 諭	牧野 庸子	中学部 知的	□□□	0年4月	□□□
14	教 諭	鈴木 規正	小学部 肢体	□□□	1年4月	□□□
15	教 諭	名倉 香里	高等部 知的	□□□	6年4月	□□□
16	教 諭	山村 晴恵	小学部 知的	□□□	5年4月	□□□
17	教 諭	大野 鯛子	高等部 知的	□□□	2年4月	□□□
18	教 諭	押尾 朋子	中学部 知的	□□□	2年4月	□□□
19	教 諭	菅沼 佐知子	小学部 肢体	□□□	3年4月	□□□
20	教 諭	若松 希美乃	訪問教育	□□□	4年4月	□□□
21	教 諭	白柳 雅啓	中学部 知的	□□□	4年4月	□□□
22	教 諭	坂井 直江	高等部 肢体	□□□	2年4月	□□□
23	教 諭	八木 利幸	高等部 知的	□□□	5年4月	□□□
24	教 諭	青島 智美	小学部 知的	□□□	1年4月	□□□
25	教 諭	河村 尚文	高等部 肢体	□□□	5年4月	□□□
26	教 諭	武井 志織	小学部 知的	□□□	5年4月	□□□
27	教 諭	采女 靖彦	小学部 知的	□□□	4年4月	□□□
28	教 諭	鈴木 倫美	小学部 肢体	□□□	0年4月	□□□
29	教 諭	市川 由理	高等部 知的	□□□	4年4月	□□□
30	教 諭	青山 香	小学部 肢体	□□□	0年4月	□□□
31	教 諭	柘植 美智子	小学部 肢体	□□□	2年4月	□□□
32	教 諭	清水 直子	小学部 知的	□□□	6年4月	□□□
33	教 諭	清水 一美	小学部 知的	□□□	2年4月	□□□
34	教 諭	田中 宏和	高等部 知的	□□□	3年4月	□□□
35	教 諭	黒岩 章子	中学部 知的	□□□	1年4月	□□□
36	教 諭	渡邊 博之	高等部 肢体	□□□	2年4月	□□□
37	教 諭	岩館 佳子	中学部 知的	□□□	7年4月	□□□
38	教 諭	本杉 志穂	小学部 知的	□□□	1年4月	□□□
39	教 諭	武川 悠子	中学部 知的	□□□	2年4月	□□□
40	教 諭	名坂 佳代子	中学部 知的	□□□	1年4月	□□□
41	教 諭	藤原 敦	高等部 知的	□□□	4年4月	□□□
42	教 諭	片岡 史和	□□□	□□□	6年4月	□□□
43	教 諭	内藤 勇仁	高等部 知的	□□□	7年4月	□□□
44	教 諭	二俣 康明	小学部 肢体	□□□	3年4月	□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
45	教 諭	伊藤 圭太	高等部 知的	□□□	2年4月	□□□
46	教 諭	武田 直子	高等部 知的	□□□	5年4月	□□□
47	教 諭	山崎 友恵	中学部 知的	□□□	2年4月	□□□
48	教 諭	斎藤 雅行	中学部 知的	□□□	4年4月	□□□
49	教 諭	矢澤 奈己	小学部 知的	□□□	3年4月	□□□
50	教 諭	上中 清伸	小学部 知的	□□□	0年4月	□□□
51	教 諭	相島 大助	小学部 知的	□□□	6年4月	□□□
52	教 諭	原川 智幸	高等部 知的	□□□	0年4月	□□□
53	教 諭	長谷川 祐香	高等部 肢体	□□□	5年4月	□□□
54	教 諭	鈴木 裕	小学部 知的	□□□	6年4月	□□□
55	教 諭	清水 恵子	中学部 肢体	□□□	2年4月	□□□
56	教 諭	日野 由佳	中学部 知的	□□□	0年4月	□□□
57	教 諭	遠藤 貴子	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
58	教 諭	堀井 諭	小学部 知的	□□□	7年4月	□□□
59	教 諭	石塚 恭子	小学部 知的	□□□	1年4月	□□□
60	教 諭	南條 祐希	高等部 肢体	□□□	1年4月	□□□
61	教 諭	鈴木 拓人	小学部 肢体	□□□	3年4月	□□□
62	教 諭	小泉 早希	小学部 知的	□□□	1年4月	□□□
63	教 諭	山本 留生	小学部 肢体	□□□	3年4月	□□□
64	教 諭	大橋 彩	小学部 知的	□□□	4年4月	□□□
65	教 諭	平田 岳	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
66	教 諭	小坂橋 麻衣子	小学部 知的	□□□	3年4月	□□□
67	教 諭	鈴木 信	小学部 知的	□□□	3年4月	□□□
68	教 諭	小林 八恵	高等部 知的	□□□	2年4月	□□□
69	教 諭	平松 優子	小学部 知的	□□□	2年4月	□□□
70	教 諭	小林 真理	高等部 知的	□□□	2年4月	□□□
71	教 諭	松崎 克矢	小学部 知的	□□□	7年4月	□□□
72	教 諭	杉山 菜々子	高等部 肢体	□□□	2年4月	□□□
73	教 諭	北野 原理		□□□	7年4月	□□□
74	教 諭	佐藤 恵美	高等部 肢体	□□□	1年4月	□□□
75	教 諭	高森 恵莉	小学部 知的	□□□	0年4月	□□□
76	教 諭	齋藤 由理佳	中学部 知的	□□□	2年4月	□□□
77	教 諭	吉田 美波	中学部 知的	□□□	1年4月	□□□
78	教 諭	三輪 眞稔	小学部 肢体	□□□	2年4月	□□□
79	教 諭	松永 友花	□□□	□□□	10年4月	□□□
80	教 諭	栗原 奈緒美	高等部 知的	□□□	3年4月	□□□
81	教 諭	安藤 純也	高等部 知的	□□□	2年4月	□□□
82	教 諭	金澤 実佳	□□□	□□□	4年4月	□□□
83	教 諭	松浦 依里	小学部 肢体	□□□	1年4月	□□□
84	教 諭	遠藤 眞輝	中学部 知的	□□□	2年4月	□□□
85	教 諭	堀田 綾子	高等部 知的	□□□	3年4月	□□□
86	教 諭	氏原 正太	小学部 肢体	□□□	6年4月	□□□
87	教 諭	高井 真依	中学部 知的	□□□	2年4月	□□□
88	教 諭	大石 与夢	小学部 知的	□□□	3年4月	□□□
89	教 諭	池谷 佑介	小学部 知的	□□□	2年4月	□□□
90	教 諭	武井 佑香	□□□	□□□	9年4月	□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
91	教 諭	加藤 琴湖	□□□	□□□	9年4月	□□□
92	教 諭	木村 美佐子	高等部 肢体	□□□	2年4月	□□□
93	教 諭	石原 貴寛	小学部 知的	□□□	2年4月	□□□
94	教 諭	吉岡 敦子	高等部 知的	□□□	3年4月	□□□
95	教 諭	山本 有紀	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
96	教 諭	中井澤 愛佑美	□□□	□□□	2年4月	□□□
97	教 諭	三津山 夏海	小学部 肢体	□□□	1年4月	□□□
98	教 諭	森 翔之	小学部 肢体	□□□	2年4月	□□□
99	教 諭	望月 駿	小学部 知的	□□□	3年4月	□□□
100	教 諭	池ヶ谷 翔	訪問教育	□□□	1年4月	□□□
101	教 諭	吉野 令奈	□□□	□□□	3年4月	□□□
102	教 諭	石川 愛弓	中学部 知的	□□□	2年4月	□□□
103	教 諭	海野 夏子	小学部 知的	□□□	1年4月	□□□
104	教 諭	濁川 加奈	□□□	□□□	6年4月	□□□
105	教 諭	高田 楓	小学部 知的	□□□	3年4月	□□□
106	教 諭	大石 陽馬	高等部 知的	□□□	0年4月	□□□
107	教 諭	濱田 美於	□□□	□□□	6年4月	□□□
108	教 諭	藁科 颯太	中学部 知的	□□□	0年4月	□□□
109	教 諭	岩堀 仁美	小学部 知的	□□□	3年4月	□□□
110	教 諭	桂本 彩雪	□□□	□□□	4年4月	□□□
111	教 諭	若月 未来	中学部 知的	□□□	1年4月	□□□
112	教 諭	石田 恵美	小学部 肢体	□□□	1年4月	□□□
113	教 諭	川崎 桃子	小学部 知的	□□□	1年4月	□□□
114	教 諭	南 琴美	小学部 肢体	□□□	1年4月	□□□
115	教 諭	西山 紗季	□□□	□□□	1年4月	□□□
116	教 諭	岡野 裕樹	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
117	教 諭	熊切 俊介	小学部 知的	□□□	2年4月	□□□
118	教 諭	望月 麻里矢	高等部 知的	□□□	6年4月	□□□
119	教 諭	小澤 美波	□□□	□□□	1年4月	□□□
120	教 諭	稲葉 祐真	小学部 知的	□□□	1年4月	□□□
121	教 諭	河原 宏治	高等部 知的	□□□	2年4月	□□□
122	教 諭	西山 瑛利	小学部 知的	□□□	1年4月	□□□
123	教 諭	曾根 実咲	小学部 知的	□□□	0年4月	□□□
124	教 諭	宇佐美 樹	小学部 肢体	□□□	0年4月	□□□
125	教 諭	岩崎 悠	小学部 知的	□□□	0年4月	□□□
126	教 諭	南條 杏奈	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
127	教 諭	花岡 朱里	高等部 知的	□□□	4年4月	□□□
128	教 諭	星野 陸	中学部 知的	□□□	0年4月	□□□
129	教 諭	竹澤 若史	小学部 肢体	□□□	0年4月	□□□
130	教 諭	高嶋 諒大	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
131	教 諭	山本 沙織	小学部 肢体	□□□	2年4月	□□□
132	教 諭	熊川 堅清	中学部 知的	□□□	1年4月	□□□
133	教 諭	増田 湧	中学部 知的	□□□	0年4月	□□□
134	教 諭	前田 萌里	小学部 知的	□□□	3年4月	□□□
135	教 諭	大石 悠菜	小学部 知的	□□□	1年4月	□□□
136	教 諭	中村 未来	中学部 肢体	□□□	2年4月	□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
137	教 諭	田邊 咲奈	小学部 知的	□□□	0年4月	□□□
138	教 諭	紅林 早希穂	□□□	□□□	1年4月	□□□
139	教 諭	白川 怜旺	小学部 知的	□□□	0年4月	□□□
140	教 諭	土屋 龍二	小学部 知的	□□□	0年4月	□□□
141	教 諭	杉村 南美	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
142	教 諭	木村 愛	小学部 知的	□□□	0年4月	□□□
143	教 諭	久保田 夏瑚	高等部 知的	□□□	0年4月	□□□
144	教 諭	柳澤 夏輝	小学部 知的	□□□	4年4月	□□□
145	教 諭	遠藤 天実	小学部 知的	□□□	1年4月	□□□
146	教 諭	内木 愛里	小学部 肢体	□□□	4年4月	□□□
147	教 諭	角田 航	中学部 知的	□□□	1年4月	□□□
148	教 諭	岩田 美沙子	小学部 知的	□□□	1年4月	□□□
149	教 諭	志小田 美宇	小学部 知的	□□□	1年4月	□□□
150	教 諭	岩切 大将	□□□	□□□	2年4月	□□□
151	教 諭	太田 寛人	高等部 知的	□□□	0年4月	□□□
152	教 諭	長田 百萌子	小学部 知的	□□□	2年4月	□□□
153	教 諭	鈴木 舞衣	小学部 知的	□□□	2年4月	□□□
154	教 諭	村松 利一	中学部 知的	□□□	2年4月	□□□
155	教 諭	堀江 乙葉	小学部 知的	□□□	1年4月	□□□
156	教 諭	片山 紗綺	小学部 知的	□□□	1年4月	□□□
157	教 諭	小笠原 寧々	小学部 知的	□□□	0年4月	□□□
158	養護教諭	小島 喜久子		□□□	4年4月	□□□
159	養護教諭	川崎 ますみ		□□□	6年4月	□□□
160	栄養教諭	上野 真理子		□□□	4年4月	□□□
161	主 査	石割 亮太		□□□	1年4月	□□□
162	主 任	西田 帆麦		□□□	2年4月	□□□
163	主 事	川村 太一		□□□	0年4月	□□□

(焼津分校)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教 頭	松浦 雅子		□□□	0年4月	□□□
2	教 諭	岡本 淳	高等部 知的	□□□	2年4月	□□□
3	教 諭	布上 智子	高等部 知的	□□□	3年4月	□□□
4	教 諭	見城 佳子	高等部 知的	□□□	0年4月	□□□
5	教 諭	貞森 保秀	高等部 知的	□□□	6年4月	□□□
6	教 諭	木村 泰昌	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
7	教 諭	宮崎 靖	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
8	教 諭	八木 仁美	高等部 知的	□□□	2年4月	□□□
9	教 諭	山下 みき	高等部 知的	□□□	4年4月	□□□
10	教 諭	平釜 正裕	高等部 知的	□□□	0年4月	□□□
11	教 諭	岩崎 洋平	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
12	教 諭	松村 慎子	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
13	教 諭	狩野 善行	高学部 知的	□□□	2年4月	□□□
14	教 諭	小野田 恵理子	高等部 知的	□□□	3年4月	□□□
15	教 諭	宮崎 愛	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
16	教 諭	迫本 理絵	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
17	教 諭	紅林 拓真	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
18	養護教諭	八木 麻優香		□□□	3年4月	□□□
19	主 査	牧野 幸生		□□□	0年4月	□□□
				平均年数	2年6月	

□□□□□□

職 員 調

(本校)

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教諭(任)	小泉 和世	高等部 知的	□□□	5年4月	□□□
2	教諭(任)	名倉 益美	中学部 知的	□□□	5年4月	□□□
3	教諭(任)	高塚 裕巳	小学部 知的	□□□	0年4月	□□□
4	教諭(任)	陳 侑秀	小学部 知的	□□□	10年4月	□□□
5	教諭(任)	小野田 佳子	小学部 肢体	□□□	10年4月	□□□
6	教諭(任)	布澤 美由紀	中学部 知的	□□□	0年4月	□□□
7	教諭(任)	青木 尚	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
8	教諭(任)	網取 富子	訪問教育	□□□	1年4月	□□□
9	教諭(任)	勝山 理恵	中学部 知的	□□□	11年4月	□□□
10	教諭(任)	松浦 有里恵	高等部 知的	□□□	1年4月	□□□
11	教諭(任)	橋本 優奈	小学部 肢体	□□□	3年5月	□□□
12	教諭(任)	亀澤 拓馬	高等部 知的	□□□	0年4月	□□□
13	教諭(任短)	松本 彩香	小学部 知的	□□□	0年4月	□□□
14	養護教諭(任)	森田 政子		□□□	1年4月	□□□
15	教諭(臨)	高木 信也	小学部 肢体	□□□	4年4月	□□□
16	教諭(臨)	大石 俊一	高等部 知的	□□□	6年4月	□□□
17	教諭(臨)	山田 美紀	高等部 知的	□□□	2年4月	□□□
18	教諭(臨)	杉山 容子	小学部 知的	□□□	0年4月	□□□
19	教諭(臨)	望月 秀敏	高等部 肢体	□□□	10年4月	□□□
20	教諭(臨)	岡田 景子	高等部 知的	□□□	3年5月	□□□
21	教諭(臨)	関 良克	高等部 知的	□□□	0年4月	□□□
22	教諭(臨)	村越 志保	小学部 知的	□□□	2年4月	□□□
23	教諭(臨)	赤堀 七菜	中学部 知的	□□□	1年4月	□□□
24	教諭(臨)	中村 直純	中学部 知的	□□□	0年4月	□□□
25	教諭(臨)	海野 恵利圭	高等部 肢体	□□□	0年4月	□□□
26	教諭(臨)	池之谷 優	小学部 知的	□□□	0年4月	□□□
27	会計年度任用職員 非常勤講師(看護)	松永 美佳	看護師	□□□	10年2月	
28	会計年度任用職員 非常勤講師(看護)	安仲 美子	看護師	□□□	9年4月	
29	会計年度任用職員 非常勤講師(看護)	北濱 諭香	看護師	□□□	2年4月	
30	会計年度任用職員 非常勤講師(看護)	矢澤 由紀子	看護師	□□□	1年2月	
31	会計年度任用職員 非常勤講師(看護)	齊藤 あづさ	看護師	□□□	1年1月	
32	会計年度任用職員 非常勤講師	杉山 翠	小学部 知的	□□□	0年2月	□□□
33	会計年度任用職員 非常勤嘱託員	塚本 理栄	事 務	□□□	6年4月	
34	会計年度任用職員 非常勤嘱託員	松山 繁樹	事 務	□□□	0年4月	
35	会計年度任用職員 非常勤嘱託員	磯部 邦雄	指導員	□□□	3年4月	
36	会計年度任用職員 非常勤嘱託員	大村 裕子	実習支援員	□□□	0年7月	
37	会計年度任用職員 非常勤嘱託員	望月 美初	実習支援員	□□□	0年5月	

	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
38	会計年度任用職員 非常勤嘱託員	河原崎 とむ	実習支援員	□□□	0年1月	
39	会計年度任用職員 非常勤労務職員	鈴木 直子	校内介助	□□□	8年4月	
40	会計年度任用職員 非常勤労務職員	安田 知子	校内介助	□□□	3年4月	
41	会計年度任用職員 非常勤労務職員	萩原 香	校内介助	□□□	3年4月	
42	会計年度任用職員 非常勤労務職員	青地 真帆香	用 務	□□□	12年4月	
43	会計年度任用職員 非常勤労務職員	吉田 康弘	用 務	□□□	3年4月	
44	会計年度任用職員 非常勤労務職員	佐野 文子	バス介助	□□□	15年10月	
45	会計年度任用職員 非常勤労務職員	佐野 典子	バス介助	□□□	14年4月	
46	会計年度任用職員 非常勤労務職員	杉村 陽子	バス介助	□□□	13年4月	
47	会計年度任用職員 非常勤労務職員	櫻井 裕美	バス介助	□□□	6年11月	
48	会計年度任用職員 非常勤労務職員	佐野 千春	バス介助	□□□	5年9月	
49	会計年度任用職員 非常勤労務職員	杉山 留美	バス介助	□□□	4年6月	
50	会計年度任用職員 非常勤労務職員	長谷川 玲子	バス介助	□□□	4年0月	
51	会計年度任用職員 非常勤労務職員	小栗 典子	バス介助	□□□	0年4月	
52	会計年度任用職員 スクールカウンセラー	牧田 百代	スクールカウンセラー	□□□	0年3月	
53	会計年度任用職員 就労促進専門員	松村 育子	就労促進専門員	□□□	0年2月	
54	学校医 健康管理医	白石 義人	□□□	□□□	2年4月	
55	学校医	小池 晃央	□□□	□□□	0年4月	
56	学校医	加藤 賢	□□□	□□□	3年5月	
57	学校医	永井 俊哉	□□□	□□□	4年5月	
58	学校歯科医	河野 吉紀		□□□	29年5月	
59	学校薬剤師	向山 信明		□□□	11年5月	

(焼津分校)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教諭(任)	猪俣 帆波	高等部 知的	□□□	0年4月	□□□
2	教諭(臨)	西 太志	高等部 知的	□□□	3年0月	□□□
3	教諭(臨)	遠藤 一菜	高等部 知的	□□□	0年4月	□□□
4	会計年度任用職員 非常勤労務職員	齊藤 恵	□□□	□□□	4年11月	
5	学校医	小長谷 稔	□□□	□□□	12年4月	
6	学校医	中矢 家寿宏	□□□	□□□	0年4月	
7	学校医	宮下 弘	□□□	□□□	12年4月	
8	学校医	夏苺 直己	□□□	□□□	12年4月	
9	学校歯科医	吉田 奈央		□□□	8年4月	
10	学校薬剤師	藪崎 徹也		□□□	8年4月	
11	健康管理医	篠原 彰		□□□	12年4月	

□□□□□□

職 員 の 年 齢 調

(令和7年7月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20 歳未満	0 人	
20 歳以上 30 歳未満	33	
30 歳以上 40 歳未満	68	
40 歳以上 50 歳未満	41	
50 歳以上 56 歳未満	18	
56 歳以上 61 歳未満	17	
61 歳以上	5	暫定再任用職員4人
計	182	平均年齢 39歳5月

□□□□□□

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 182人 職員数 183人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1)未受診の理由

□□□ 1人

□□□ 0人

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0 人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0 人
B 2		要経過観察	0 人
C 1	勤務をほぼ平常に行っていが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0 人
C 2		要経過観察	0 人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	25人(22人)
D 2		要経過観察	57人(51人)
D 3		医 療 不 要	96人(66人)
区 分 者 計			178人(139人)
未区分者数			4 人
合 計			182人

(1) 管理区分A～C 2
該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア □□□ 1人

イ □□□ 3人

ウ □□□ 0人

エ □□□ 0人